

RT JOURNAL

CSR、始動。

Re-Teckは事業拡大だけでなく、社会貢献にも取り組みます。



CSRを実施することで、社会から選ばれる企業に。

企業が持続的に成長していくためには、利益を優先させるだけでなく、ステークホルダーとの関係を重視しながら、社会に対する責任や貢献(社会的公正性を保つことや、環境対策を施すことなど)に配慮する必要があります。企業が未来永続的に存在していくためには、企業自ら社会の一員として、まずは「社会そのもの」が永続的でなくてはなりません。つまり、企業が自分自身の利益のみを追求して、社会的に持続可能な発展に反する行為を行うことは社会からの信頼を得られず、企業の永続的發展ができないのです。

CSR方針

私たちはRSCMで生み出した価値を社会へ還元し、循環型社会へ貢献します。

Re-Teckは3R^{※1}を推進することで限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会へ向けて貢献していきます。電子機器には多くの再生可能な電子部品が含まれています。お客様から回収した機器の資産価値を最適化し、さらに廃棄による土壌汚染や大気汚染などの環境負荷を低減し、地球環境に貢献したビジネスを展開していますが、それだけでなく、皆さんの普段の行動からもCSRを意識して取り組んでいただくために、CSR方針と行動指針を策定しました。

※1 3R: Reduce(減らす)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)の3つの「R」の総称

行動指針

- 従業員自ら3Rを推進し環境に配慮した行動を意識します
- 社内備品は積極的にリユース製品を利用します
- 情報開示を適切に行い責任ある対応をします

設立5年、Re-Teckは新しいステージへ進みます。

今期、当社は予算・目標策定、社内規律・規則の運用促進を行っています。今後はCSR(=社会的「責任」)の基本であるコンプライアンス(法令順守)の徹底、ISOの運用促進もしていきたいと思っています。当社にとってCSRの最重点課題は、社会的「責任」への意識高揚です。社会対応力の向上、社会貢献の実施、社内規範・規則をきちんと守る強い組織づくりが急務であり、その為にはすべての社員がCSRの基礎知識を理解することが不可欠です。CSRを推進することで意識改革につながり、さらにはCS(顧客満足度)にもプラスの影響を与えます。CSRは自分で創るもの。皆さん1人ひとり、CSRとは何かを考え、毎日の仕事の中でも実践してください。そして「個」の力をOne Team力に集約し、単に社会的「責任」の遂行ではなく、企業の「価値」向上へつなげられる活動、Re-Teck Japan独自の「CSR Beyond!」を推進していきましょう。



代表取締役
須藤 直以

CSRをきっかけに、新しいお客様とのつながりも創出。



今後、CSRではNPOやNGOをはじめ、様々な団体と連携して個人所有の携帯電話を回収し、寄付をしていく予定です。その新しい関わりの中でリーテックの良さをアピールし、法人営業にも繋げていきたいと思っています。

「私たちのメダルプロジェクト」がスタート。

不要になった小型家電を社内回収し、オリンピックのメダルプロジェクトに寄付します。目標台数は「五輪」に絡めて1人5台！全拠点合わせて250台の回収を目指します！

期間：2017年12月1日～2018年6月30日

場所：各サイトの回収BOX

電話機・ファクシミリ・携帯電話・PHS・タブレット・カーナビ・ラジカセ・デジタルチューナー・デジカメ・ビデオカメラ・DVDプレイヤー・ステレオ・パソコン・USBメモリメモリーカード・ハードディスク・プリンター・ディスプレイ電子書籍・電動ドリル・電卓・電子辞書・電子体温計・ヘルスマーター・電動式吸入器・フィルムカメラ・炊飯器扇風機・除湿器・電気アイロン・ドライヤー・電気カミソリ電動歯ブラシ・マッサージ機・電気芝刈り機・照明器具電子時計・電子楽器・プラグ・充電器ケーブル

※持ち運び可能な大きさであるもの

各サイトのオリジナル回収BOX



オリンピック社内スローガンが決定！

メダル！ それはアスリートの**汗と涙の結晶！**
私たちが作ります！



6月に社内募集したオリンピックプロジェクトのスローガン。たくさんの応募の中より選ばれた3名の方にスローガンに対する熱い思いとプロジェクトへの意気込みをお伺いしました。

僕たちが取り組むのは当たり前。

自分の提案したスローガンが当選したと聞いて、驚きました。実は、今回選ばれたアイデアは家族と一緒に考えた内容であったため、家に帰ってすぐに嫁へ報告すると、一緒に喜んでくれました。業務で携帯電話をリユースしていることもあり、オリンピックのメダルプロジェクトに積極的に取り組むことは当たり前だと思っています。そのため、スローガンも10個以上応募しました。小型家電の寄付目標は、自分の体重分。これを機会にリサイクルの輪を広げていきたいです。



守口センター 逢坂 保さん

全社一丸となって取り組みたい。

この企画が発表されたとき、取り組むのであれば「全社で取り組みたい」と思いました。だから『私たちが作ります』というスローガンが選ばれてとても嬉しく思っています。自分たちが持ち寄ったものがメダルになると思うと、オリンピックの見方も変わってくると思うし、我々自身の仕事に対する思いも変わる。身の回りの電子機器には価値のある金属がたくさん潜んでいます。この企画を通して、回収の大切さを改めてみんなに感じて欲しい。そして、オリンピックが終わっても不要な家電をぜひセンターに持ってきて欲しいと思います。



東京RSCセンター 山下 信雄さん

不要家電は手元にないけれど、全面協力したい。

アスリートはみんな汗と涙を流しているけれど、中でもオリンピックという大舞台で力を発揮できた人だけがメダルを手にする。そのメダル作りに関わりたいと思う気持ちを込めてスローガンを提案しました。携帯電話の買い替え時には必ずキャリアへ返却をしたり、普段から断捨離を心がけているので、手元に不要な家電はほとんどありませんが、友人や知人にも声をかけて必ず目標の5個は寄付をします。そして、この企画に全面協力します。



東京本社 高橋 康人さん

編集後記



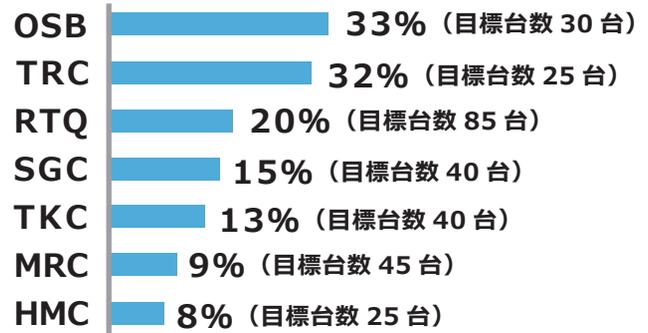
RT JOURNAL を最後までお読みいただきまして有難うございます。無事に発行できてホッとしています。今後もなるべく多くの方に登場してもらいながら、様々なCSRの取組みをご紹介していければと思っています。取材依頼が届いた際は、ぜひご協力のほど宜しくお願いいたします。CSR 小野真菜

RT JOURNAL

『私たちのメダルプロジェクト』に多くの社員が参加、不要になった小型家電の回収がスタートしています。

12/1より『私たちのメダルプロジェクト』がスタート。すでに52台もの不要な小型家電が集まっています。希望者には携帯電話に穴を開けたり、ハードディスクを破砕するなど、情報漏洩の対策もきちんと行っています。小型家電は捨てるのも面倒であったり、コストがかかったりと処分に困っている人も多いのではないのでしょうか。今回のプロジェクトでは、回収BOXに入れるだけという手軽さから多くの社員が協力してくれています。年末年始の大掃除で出た不要な家電がありましたら、ぜひ各拠点の回収BOXへ。家族、友人、知人にも声をかけていただき、リサイクルの輪を広げていきましょう！

各拠点の目標達成率



※在籍人数 × 5台を各拠点の回収目標としています。

各サイト毎に目標達成率を集計しました。1位は大阪支店、2位は東京RSCセンター。今回はこちらの2拠点のプロジェクト担当者に回収の秘訣を伺いました。

大阪支店



プラスチックボックスに蓋をつけた回収BOX。センターの余った資材を活用。

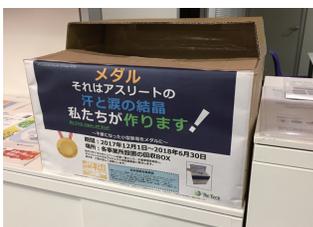
メンバー全員が協力してくれたことが、とても嬉しかった。

人数が少ない分、個別に声かけを行いました。支店長の徳田さんもメールで取り組む意義を語ってくれて、全体の士気が上がったと感じています。「持ってきたよ」とか、「協力するよ」とか言わないクールなメンバーだけけれども、実は友達に不要な家電がないか聞いてくれたり、こっそり回収BOXに入れてくれたり、会社のCSRにきちんと協力してくれるメンバーに支えられています。



田中 克明さん

東京 RSC センター



2作目の回収BOX。投入口が工夫されたつくりになっている。

今後も朝礼で取組みのリマインドをしていきます！

TRCはセンター長の山下さんが強いリーダーシップで回収を促してくれています。朝礼でも取組みについて説明をしてくれたり、すでにたくさんの寄付をしてくれています。そのため、スタッフの理解度も高く、とても協力的です。回収BOXを制作した際も、完成したBOXを見て、いろいろと意見をくれました。新しい年になり、オリンピックも近づいてきました。皆さん、より一層協力をしていきましょう。



中尾 信浩さん

CSR マスコットキャラクター募集！

あなたのデザインがユニフォームのワンポイントに！

Litong グループ全体で使用されます。

応募期限：2018年1月31日 18:00

応募宛先：CSR 小野

応募資格：Re-Teck の社員全員

応募方法：白い背景にキャラクターを描写
PDF もしくは JPEG にて提出
(手書きを写真撮影しても OK)

※応募の際は、著作権にご注意ください。

採用者には賞金あり



グリーンで可愛い動物キャラ推奨！

コンセプト：

- イベントの PR・POP などに使用するため、キャッチーなキャラクターであること
- エコ・環境に優しいことをアピールできること

使用用途：

- CSR に関係するイベントの POP や携帯電話の回収 BOX のデザイン、RT JOURNAL へ使用
- ユニフォームのワンポイントや Litong グループ全体の備品のデザインに使用

自分の提案したキャラクターが全社の広告塔になるチャンスです！
たくさんのご応募をお待ちしております。

Litong group' s CSR

Litong 本社（香港）では、お客様と一緒に様々な活動を展開しています。

今回は、お客様から不要な携帯電話を集めたリサイクルキャンペーンについて紹介します。



废旧手机社区回收活动（不要携帯電話の回収キャンペーン）

Litong は大手キャリアとスーパーマーケットと連携して、携帯電話のリサイクルキャンペーンを実施しました。スーパーマーケットのサービスカウンターへ回収 BOX を設置し、携帯電話を寄付してくださったお客様には割引券と大手キャリアの新機種携帯電話が当たる抽選券をプレゼント。1 店舗あたり約 1,000 台の携帯電話を回収しました。毎年、実施店舗を変更しながらキャンペーンを行っています。



回収 BOX のデザイン

編集後記



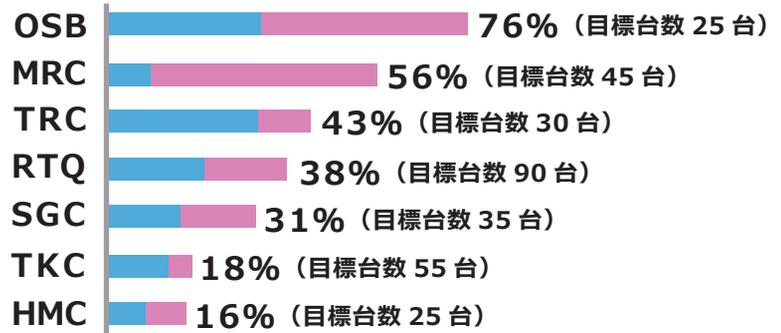
『私たちのメダルプロジェクト』が始まってから「小型家電持ってきました」「今度も持って来るね」「これは回収対象ですか？」など、いろいろと声をかけていただくことが多くなりました。皆さんがプロジェクトに興味を持ってくださることがとても嬉しいです。このプロジェクトは皆さんの協力なしでは達成できません。引き続き、ご協力を宜しくお願いいたします！ CSR 小野真菜

RT JOURNAL

『私たちのメダルプロジェクト』 大阪支店が目標達成に王手！ そのあとを前回6位の守口センターが追いかけてます。

『私たちのメダルプロジェクト』がスタートして2ヶ月。全体では116個の不要な小型家電が集まっています。今回も首位をキープした大阪支店は目標達成まであと6台。それを追う、前回6位の守口センターは1月の回収分で2位に躍り出ました。全員が1台持ってくるだけでも順位が大幅に変わります。今回のプロジェクトの目標点数は『五輪』に絡めて1人5台。携帯電話やパソコンに限らず、リサイクル可能な小型家電を対象としています。まだ1台も寄付していない人はぜひ家の中を探してみてください。昔使っていた音楽プレイヤーや、ゲーム機、フィルムカメラなども回収対象です。回収対象が不明な場合はいつでも問い合わせください。皆さまのご協力を宜しく申し上げます。

各拠点の目標達成率



※在籍人数 × 5台を各拠点の回収目標としています。

青色は12月分、赤色は1月分の達成率を表しています。

前回から大幅に回収量を増やした守口センターには秘密があった。
ぜひ他の拠点も真似して欲しい！回収の秘訣を担当者に伺いました。

秘訣その1 守口センター オリジナルの管理表

守口センターにはオリンピックの社内スローガンに選ばれた逢坂さんを筆頭にプロジェクトに積極的なスタッフがたくさんいます。回収BOXには管理表がついていて、持ってきた人はそれに名前と何を持ってきたかを記入、誰が貢献してくれているかが一目でわかり、メンバーに競争意識がうまれています！



管理表

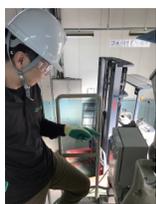
秘訣その2 パートナー企業からの回収

業務で回収に行く際に、企業から「この家電も一緒に持ってってよ。」と言われることが多く、いつも断っていましたが、『私たちのメダルプロジェクト』の始まりをきっかけに、取組みをご説明し、そのプロジェクトに寄付することで6月までの期間限定で一緒に回収することにしました。全拠点の中で一番大きな回収BOXですが、それも一杯になり、これから回収BOXを2個増設する予定です。



回収BOX

プロジェクト担当者：松本忠嗣さん



このプロジェクトは実際にオリンピックに関わっている実感がもてますし、お客さんにも「すごい取組みをしているんですね」と言ってもらえて、喜んでもらえる本当に素晴らしいプロジェクトだと思います。家族にも話をすると、「はよ、いらん家電持ってきよ！」と、とても協力的です。一人では達成できない目標も皆で協力しあい、まずは大阪でワンツーフィニッシュできるように競争心をもちながらも、ワンチームでがんばります！

Re-Teck のコンプライアンスプログラム

コンプライアンスって何・・・？

法令（憲法、法律、政令、規則、条例、条約等の国際規範等の一切の法規範を含む）、社会規範、企業倫理、会社の定款、行動規範および社会規程を守ること。

Re-Teck コンプライアンスプログラムとは

「リーテック行動規範」、「コンプライアンス規定」、「企業贈収賄防止コンプライアンスマニュアル」から構成され、リーテック株式会社がリートングループの日本法人として法令を遵守し、倫理的に事業活動を行うことに確固として取り組んでゆくために定めた行動規範・規定です。「リーテック行動規範」が働く社員の皆さんの行動の指針となります。Re-Teck Japan の社員として、また社会人として、会社の信頼を傷つけないように、お客様・同僚からの信頼を失わないように、発言・行動をしていただくことが求められます。

Re-Teck Japan 心得帖の配布

リーテック行動規範には皆さんに日頃から意識して行動してもらいたい内容を記載しています。実際にどんな行動をしてはいけないのか、どんな行動をすることがよいのか、行動規範についてわかりやすくまとめた「Re-Teck Japan 心得帖」を作成しました。皆さん一人ひとりに配布します。

『社会正義と企業利益のどちらかを取らなければならない状況に遭遇したら、迷わず社会正義を貫く』ということを基本に、以前から行っているから、上司の命令だから、といった既成概念・社内論理基準で動くのではなく、社会通念と個々の高い倫理観と責任感を基礎として行動するようにお願いします。



Re-Teck Japan 心得

- 其の一、社内ルールはもちろん、取引先との契約や法令をきちんと守る。
- 其の二、暴力団などの反社会的勢力とは一切関わらない。
- 其の三、人権を尊重し、差別、セクハラ、パワハラ、誹謗中傷など人を傷つける行為をしない。
- 其の四、回収した製品に含まれるデータはきちんと処理し、絶対に情報漏えいさせない。
会社の機密情報は持ち出さない、持ち帰らない。
- 其の五、賄賂や過剰な接待はしない、受け取らない。
- 其の六、不正行為の禁止、会社の資産を私用に流用しない、他社の商標や特許、著作権を不正使用しない、不公正な取引をしない。
- 其の七、事業自体が環境ビジネスであるが、仕事だけでなく、日常生活においても3R（リデュース・リユース・リサイクル）を徹底し、廃棄物を最低限に抑える。
- 其の八、労働時間をきちんと守り、無断欠勤やサービス残業をしない。
- 其の九、社内外問わず、信頼関係が築けるようなコミュニケーションをとる。
- 其の十、労働災害・事故の防止、業務上の疾病を予防し、安全で健康に働ける環境をつくる。

CSR マスコットキャラクター

RT JOURNAL vol.02 で社内募集したCSRのマスコットキャラクターに応募していただいた皆さま、有難うございました。全部で9つのアイデアが集まりました。正式なキャラクターが確定したら、またご報告いたしますので、ぜひ楽しみにお待ちください。



編集後記

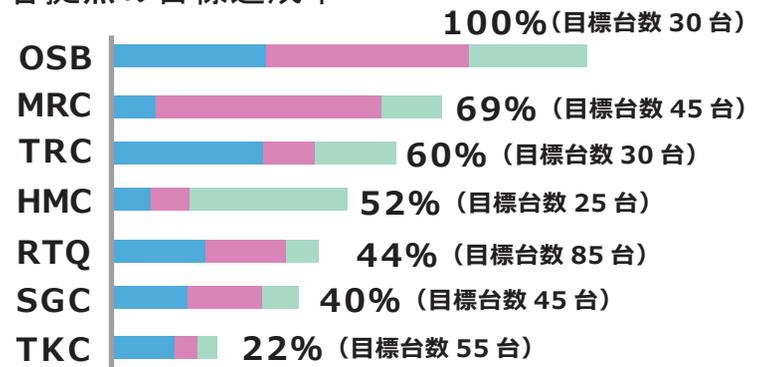


今回ご紹介した『Re-Teck コンプライアンスプログラム』について、一部策定やデザインに携わりました。Re-Teck Japan 心得帖は名刺サイズで作成しております。配布されましたら、ネームホルダーやお財布、定期入れなどにしまっただけ、行動に迷ったときはいつでもすぐ確認できるようお願いいたします！ CSR 小野真菜

『私たちのメダルプロジェクト』がスタートして3ヶ月。 大阪支店が目標回収数を達成しました！

開始からわずか3ヶ月で大阪支店が目標を達成しました。大阪はチームワークよく、全員がすばやく協力したことで、今回の結果に繋がりました。全体では159個の不要な小型家電が集まっています。今回の回収では橋本センターが大幅に回収量を伸ばしており、前回の最下位から見事4位に浮上しています。橋本センターの回収BOXは、全拠点の中で唯一、南京錠で施錠し、防犯対策をきちんと行っています。更に、管理表を作成し、誰がいつ提供したかが一目でわかるようになっています。メンバーが目標に向けて一丸となっていることが、今回の回収に繋がりました。このプロジェクトは6月末までの期間限定です。引き続き、ご協力をお願いします！

各拠点の目標達成率



※在籍人数×5台を各拠点の回収目標としています。

青色は12月分、赤色は1月分の達成率を表しています。

第1回 コンプライアンスプログラム社内説明会を実施。



コンプライアンスプログラム説明会の様子
スカイプで全拠点をつないで実施

1月末に Re-Teck コンプライアンスプログラムが策定され、社内周知されました。コンプライアンスプログラムとは、「リーテック行動規範」、「コンプライアンス規定」、「企業贈収賄コンプライアンスマニュアル」から構成されています。多くのマニュアルや規定が皆さんに配信されましたが、わかりにくい専門用語や理解が難しい内容も多いことから、『コンプライアンスプログラム社内説明会』を実施。3/5に開催された社内説明会では、法務部の寺田さんよりマニュアルに関する解説がありました。会社や社員の不正や不祥事が発見されると、社外からの信頼を得ることができず、事業に悪影響を及ぼします。また、不正をしながら働くことは、働く社員の精神衛生上にも悪く、気持ちよく働くことができません。最近では、国際的大手企業との取引も増え、契約の際に規範を求められることもあります。コンプライアンスとは、“仕事人としてのルールを守ること”です。もう一度、マニュアルと自分の行動を見直し、リーテックで働くメンバーとして恥ずかしくない行動をしましょう。

こんなとき、
どうする？
寺田先生！
教えて、

買取り依頼の電話が来たので、実際に何ったらヤクザの事務所だった！どうしよう。

気付いた時点で、交渉を終了し、身の安全を確保して速やかに事務所から去りましょう。その後、連絡が続くなら、法務またはコンプライアンス窓口へ連絡してください！

役所に申請に行ったら、係りの人と仲良くなったので、コーヒーを差し入れた。
公務員に賄賂は禁止だけど、コーヒーくらいは良いよね？

公務員に対しては物品は渡さず、気持ちのみをお伝えしましょう。
他人から見て、「賄賂を渡している」と誤解される状況では、法律違反を問われる可能性もあります。

『教えて、寺田先生』のコーナーでは、皆さまからのお困りごとを募集します。気軽にCSR小野までご連絡ください！

※個別の事情により対応が異なる場合があるため、実際に事例のような事態が起こった場合も一度ご相談ください。

ISO9001/14001/27001 に対し、外部審査が終了しました！

2/26～3/2の期間、Re-Teck Japan 全社で ISO の外部審査が行われました。一部の方には審査にご協力いただきましたが、今回関わらなかったスタッフも多いため、ISO とは一体何か、ご紹介していきます！

ISO（国際標準化機構）は国際的に通用する規格を制定している組織です。その規格は 2 種類。

製品そのものを対象とする規格

A4 用紙

例えば、皆さんが印刷をする際に使用する A4 用紙は ISO216 で寸法が 210mm×297mm と決まっています。どの世界でも A4 と言えば、同じ大きさなのです！クレジットカードやネジも世界共通です。

マネジメントシステムを対象とする規格

ISO9001

ISO14001

ISO27001

組織を適切に指揮・管理する「仕組み」に対する規格。作業を行う際に、きちんと規格に沿ったマニュアルがあるか、マニュアル通り作業を行い、問題なく運営できているかが問われます。

Re-Teck は 3 つのマネジメントシステムの認証を受けています。

ISO9001 品質

顧客（消費者、エンドユーザー、小売業者、購入者など）に対し、製品・サービス・業務の品質を確保し、顧客満足度を向上させる

ISO14001 環境

事業活動に伴い発生する環境問題に直接・間接に影響を受ける全てのものに対し、社会的責任として地球環境の保全及び汚染の予防を行う

ISO27001 情報セキュリティ

事業に関わる全ての人に対し、信頼性を確保するために、情報の漏洩を防ぎ、データを正確・完全であるように管理し、継続稼働できるようにする

ISO 認証のメリット！

- ① 社内の管理体制について、ISO という第三者が証明する事により、顧客に安心感を与られます。
- ② きちんとした手順書があり、作業が統一されるため業務効率がアップします。
- ③ 定期的な外部審査や内部監査をすることで、作業の見直しができ、マニュアルが更新されます。

ISO 外部審査のおさらい！ FY2018 Re-Teck Japan の品質目標、環境目標とは？



QL30 が私たちが掲げる品質目標と環境目標です。QL とは Quantum Leap と Quality operations の 2 つの意味があります。私たちの事業は環境ビジネスです。リバースサプライチェーンマネジメントを行うほど、廃棄される IT 機器を資源に変えることができ、資源の枯渇や廃棄物の抑制など様々な社会貢献を行うことが可能です。そして、QL30 を達成するために業務をシステム化して効率を高めることは、作業時間や紙資源の削減にも繋がります。また、事業拡大をするためには品質の向上も必要です。質のよいサービスを提供することで、リピーターを増やしていきたいと考えています。つまり、QL30 という目標のために立てた各事業部の目標（システム化、効率化、標準化など）はそのまま ISO で問われる品質目標と環境目標なのです。

今後は ISO についての勉強会を行う予定です。審査のためではなく、日ごろの業務改善の一環として、うまく ISO のマネジメントシステムを活用してもらえるように事務局でも工夫をしていきます！

編集後記



今回の ISO 外部審査では東京本社で行われた審査の全工程に立会いました。CSR は審査対象外のため議事録を書くだけの担当でしたが、同席することで東京本社の皆さんと仲良くなれた気がしました。初めて受審された方も多く、私もドキドキ、そわそわしましたが、来年度は事務局として、皆さんをフォローできるくらいに成長したいと思います！その際はどうぞ宜しくお願いいたします。

CSR 小野真菜

RT JOURNAL

4月1日よりFY2019がスタートしました。

(2018年4月より2019年3月)

私たちは新しい目標に向けて走り出します。

新年度、Beyond Quality 50 オペレーションを目指して！

FY2019 の新スローガン「BQ50」



BQ50 の BQ は Beyond Quality の頭文字です。
今期は高品質業務体系の構築を目指します。



One Team, One Management, One Goal

全社一丸となり、一つの方向性を持って、
一つの目標に向かって欲しいという
気持ちを込めました。

前年度は、当社の重要なお客様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様の多大な支援を受け、社員全員の努力とあわせて、大きな飛躍の年となりました。有難うございます。新年度 FY2019 においては、前年度にすすめてきた Quality Operation 質的改善をさらに推進し、**Beyond Quality 50** として、標準化とシステム化をさらに構築、各部門でトータル 50 の目標を含む、持続的安定的ビジネスポートフォリオ作りを進めます。また、当社日本法人はリーテックグループのグローバルハブの重要拠点のひとつでもあるため、さらにグローバルでの連携体制を強化し、お客様に当社ならではのソリューション、VP^{※1} 顧客価値創造をご提供したいと思えます。まずは、全社一丸、「One TMG」(One Team, One Management, One Goal) をベースに、常にコンプライアンス (法令順守) の徹底と CSR (企業の社会的責任) 活動推進とともに事業を通じて、いつでも社会貢献できる会社を目指します。



代表取締役
須藤 直以

※1 VP とは Value Proposition の略であり、お客様にとっての価値を創造し、提供すること。

各事業所長から働くメンバーへメッセージ

相模原センター
鈴木 祥恵智

相模原は IT & Mobile のスタッフ、及び関係各位のご協力により、昨年目標を全て達成出来ました。新年度は新規ビジネス獲得しましょう！！



大阪支店
徳田 剛

FY2018 は、仕入台数前年比 2.2 倍に。お取引先様、パートナー様、そして大阪支店、センターメンバーに感謝。



守口センター
松本 忠嗣

も もっともっと
り リバースサプライチェーンを実行し
ぐ グループで力を合わせ
ち 挑戦し続けるセンターになろう！



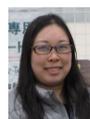
東京 RSC センター
山下 信雄

TRC としての飛躍を目指し全員の気持ちを一つに目標に向かって邁進しましょう。責任と自覚を問われる年と認識し、ランクアップを目指しましょう！



橋本センター
高 艶麗

今年の橋本センターはニュービジネス発足の初年なので、チーム一丸となって新たな目標、標準化とシステム化を実現できるように頑張りましょう！



東京江東センター
大沢 龍一

前年度の目標をクリアできたのは、センター全員の頑張りがあったからです。本年度も更なる飛躍を目指して一緒に頑張りましょう！



LiTong 香港の
Tonyさんと Elaineさんからも
日本メンバーへメッセージが届きました！

日本のマーケットは
多くの可能性を秘めています。
私たちも全面的に日本をサポートするので、
FY2019 も目標に向かって
突き進んでいきましょう！

Japan is a big potential market!
We would definitely support Japan
& Let's make another
break through in 2019!



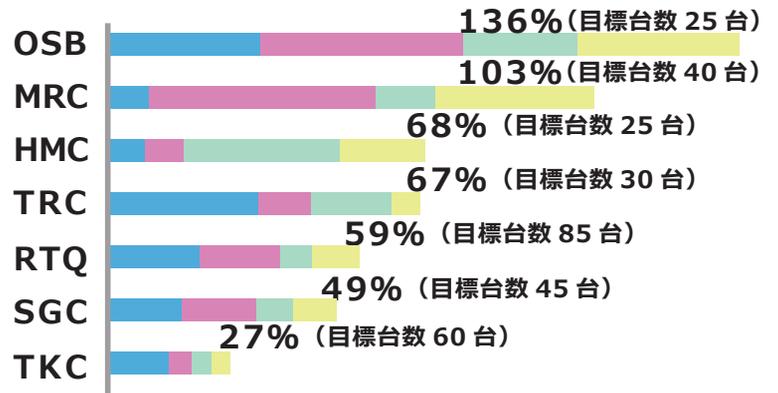
LiTong Group HQ
CEO Tony Wang
CGO Elaine Lo

『私たちのメダルプロジェクト』回収終了まで残り3ヶ月。 目標回収数量まであと50個！

『私たちのメダルプロジェクト』も、折り返し地点となりました。大阪支店に続き守口センターも回収率 100%達成です。他の拠点の皆さまも引き続き、ご協力をお願いします。オリンピックのメダル（金・銀・銅）を作るためには、金が 40kg、銀 4,900kg、銅が 3,000kg 必要と算出されています。日本では 1 年間に約 65 万 t の小型家電が廃棄されていますが、その中には 844 億円分もの貴重な金属が含まれているそうです。自然の金山から採れる金鉱石には 1t あたり約 5g の金が含まれていますが、回収された携帯電話 1t（約 1 万台）から回収できる金は約 280g にもおよびます。^{*1}一つひとつの金属価値はそれほど多くはありませんが、リーテック丸となり、少しでも環境保全に向けて貢献をしていきましょう。

^{*1} 数値データは環境省発行のエコ・マガジン「エコジ」より抜粋

各拠点の目標達成率



※在籍人数 × 5 台を各拠点の回収目標としています。

青色は 12 月、赤色は 1 月、緑は 2 月分の達成率を表しています。

前回、大幅に回収量を増やした橋本センターを直撃取材！ 橋本センターにはメンバー発案の工夫がたくさんありました。

橋本センターならではのこだわりの回収 BOX



回収 BOX

- ・倉庫にあった用具入れを使用
- ・いらなくなった机の板を切断して蓋に改造
- ・棚を組み立てる際に使用する金具を閉閉器具として使用
- ・あまったプラスチックチェーンに南京錠をつけて施錠

※全て橋本センター内にあるもので制作したためコスト 0 円
センター内を整理整頓した際に使えそうな部品を多数発見

RT JOURNAL vol.03 で橋本センターが最下位だったことをきっかけに、朝礼でそのことを伝えたところ、皆が積極的に不要家電を持ってきてくれるようになりました。もともと、回収 BOX づくりでもメンバーが協力してくれて、橋本センターならではの素材で制作をすることができました。その中心となってくれたのは吉良さんです。センター内の整理整頓や備品を管理しながら、この素材が BOX に使用できるかもと構想を膨らませ、セキュリティ意識の高い回収 BOX が完成しました。

プロジェクト担当：塩屋 佐登美さん



整理整頓された備品



用具入れ



BOX に使用した部品



橋本センターで働くメンバー

『私たちのメダルプロジェクト』に限らず、改善がいつぱいの橋本センター 今回はその内容を一部ご紹介します！



番地が明確なネステナー
貼替え可能なマグネットに記載されたバーコードで番地の取得も瞬時にできる。



ネームや番号で管理
個人用のヘルメットや、皆が使用する PC など、通し番号や名前を貼って管理している。

全員が理解できて、効率がよくなる方法を模索して、実施している橋本センター。ネステナーに番号を振って管理することで、どの製品がどこに保管されているかが一目でわかるようになりました。今後、橋本センターの Lily さんを中心に「RTJ センターオペレーションの紹介プログラム作りプロジェクト」が進んでいきます。よいアイデアは全拠点でシェアし、標準化と効率化を推進していきましょう！

文京学院大学カリキュラム

『フィールドプロジェクト演習 I』にリーテックが参画！

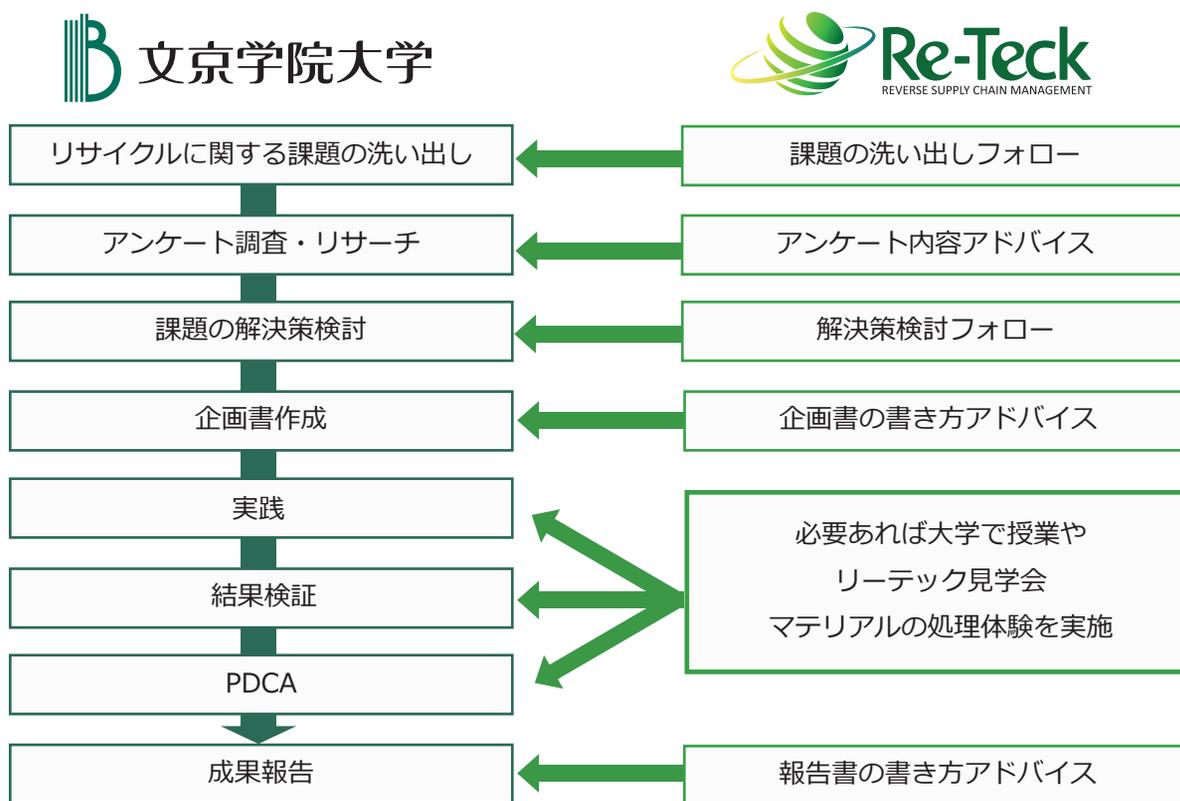
4月19日(木)より1年間、大学3年生と一緒に社会課題を解決に向けて奮闘します。

文京学院大学のカリキュラムにある「フィールドプロジェクト演習」は学生が企業と連携して社会貢献や地域貢献をしながら、実践経験を積んで、成長していくための通年の授業です。ハイテクIT機器は需要を高め、大量生産、大量消費、されています。このIT機器のライフサイクルアセスメント^{※1}を学生と一緒に考えながら、彼らが思う課題の解決に向けて、リーテックがお手伝いをしていきます。IT機器がもたらす環境影響とはなにか、その解決には何が必要でどんな行動をするべきか、学生ができることは何か、リーテックができることは何かを模索していきます。今回のプロジェクトでは、実際に大学で講演を行ったり、大学生がセンターを見学する可能性もあります。各部門の皆さまにもご協力をいただくことがあると思いますが、その際はどうぞ宜しくお願いします！

※1 ライフサイクルアセスメントとは、製品が「素材採取から生産、流通、廃棄・リサイクル」されるまでの全工程もしくはその範囲において及ぼす環境影響を定量的に評価する手法。

取組みの流れ

今回のプロジェクトは基本的に学生主体の活動となります。彼らがリーテックの事業を理解し、連携して社会貢献や社会課題の解決ができるように取組みを進めていきます。大学生にリサイクルについて興味を持ってもらい、少しでもエコロジカルなライフスタイルを実現して欲しいと考えています。



一緒に取り組む文京学院大学の教授へ、今回の授業に求めることを伺いました！

大学では理屈を教えることが多く、社会背景や調査はできますが、実学的なことを教えてビジネスにつなげることは難しいです。学生たちが将来を考える中で、社会人や、大人と触れ合うことはとても大切に貴重な体験であると思います。社会貢献をしたい学生はたくさんいますが、ボランティアでは自分自身が生活をするのができません。環境貢献をビジネスとしているノウハウや、仕事の仕方、考え方などをぜひ教えて欲しいと思っています。今回の授業を通じて、これからの社会に何が必要で、自分たちがどんな生活をしていきたいのか、ライフスタイルを考えるきっかけとなり、更には起業する学生が出てくることを期待しています。



人間学部 コミュニケーション社会学科
学科長 教授 工学博士 中山智晴先生

ISO認証更新が完了しました！

2月26日から3月2日の期間に実施された審査機関 bsi による外部審査について、3月13日に認定登録証が届き、正式に認証の更新が完了しました。ISO のマネジメントシステムは認証を受けることが目的ではなく、きちんと運用ができているかが重要です。4月より FY2019 がスタートしましたが、今年度は ISO についても体制を強化させ、スムーズな運営ができるように努めます。各拠点の皆さまのご協力も必要不可欠ですので、ぜひご協力のほど、宜しくお願いします。



ISO 9001

ISO 14001

ISO 27001

エコロジカルなオフィスへ。ISO をきっかけに少しずつ節約を心がけています。



東京本社や大阪支店に置いている裏紙専用 BOX



印刷無駄をなくすための啓発ステッカー

確認資料などの印刷は積極的に裏紙を使用し、複数面を1枚に印刷をしたり、印刷をするべきか再度確認をすることで紙やインクの削減に繋がります。節約は個人の意識で結果が大幅に変わります。ぜひ、よい節約アイデアはシェアしましょう！



節約ステッカーが ISO/EMS 藤岡さんより共有されています。掲示のご協力をお願いします。

“FY2018 RTJ QL Award” 15件のエントリーがありました。



RTJ QL Award とは？

チームもしくは個人で FY2018 に行った業務改善に対して、会社が理解し、それを表彰することで今後の「QualiTy operation」の構築に生かすことを目的とした取組みです。通常業務以上の成果や、大きく会社へ貢献したスタッフへは賞状が授与され、個人評価へポイントがプラスされます。

エントリー数は 15 件。のべ 50 名のスタッフがノミネートされています。

現在、全てのエントリー内容を確認し、個別にヒアリングを実施しています。内容を精査し、業務執行委員会にて承認を得たのち、表彰をいたします。今回応募された案の中から、模範的な取組みは標準化プロジェクトでも取り上げ、リーテック全体で業務改善を行っていく予定です。また、来年度も Award は続きますので、FY2019 も新しいことに挑戦し、提案・改善をしていただきますよう、宜しくお願いします。

編集後記

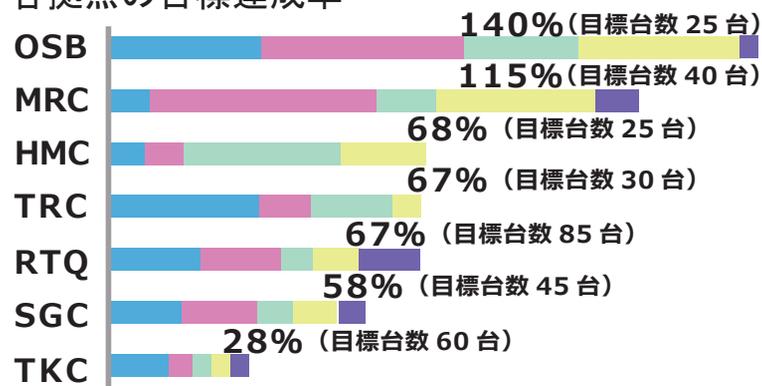


RT JOURNAL も今回で 5 回目の発行となりました。4月 は FY2019 はじまりの年でもありますので、特大号として 4 ページ作成しました。情報量も多く、読み応えのある内容になったのではないかと思います。(注：次号からはまた 2 ページに戻ります。) 先日のアンケートでは、たくさんの嬉しいご意見や、新しいアイデアをたくさん頂きましたので、それも少しずつ紹介していきたいと思います！ CSR 小野真菜

『私たちのメダルプロジェクト』回収終了まで残り2ヶ月。 目標回収数量まであと36個！

リーテックの回収目標である 250 個まで、あと残り 36 個となりました。リーテックでの回収は 6 月末で終了となります。まだ不要家電がご家庭に眠っている方はぜひ期間中にお持ちください。リーテックが普段取り扱っている製品以外にも回収対象品はたくさんあります。家庭用ゲーム機やデジカメ、音楽プレイヤーやデジタル時計など、壊れていても構いません。また、希望者には携帯電話や PC などに穴を開けたり、ハードディスクを破砕する対応も行っています。情報漏洩が気になる方は回収ボックスへ投函する前に一言お声がけください。各サイトの担当者が対応いたします。終了まで残りわずかですが、全社一丸となって目標数量を達成させましょう！

各拠点の目標達成率



※在籍人数 × 5 台を各拠点の回収目標としています。

青は 12 月、赤は 1 月、緑は 2 月、黄は 3 月、紫は 4 月の達成率を表しています。

マテリアルunit キックオフミーティングを実施

4月5日にマテリアルunitが東京RSCセンターへ集まって、FY2019キックオフミーティングを行いました。マテリアル担当者ははじめ、社長、法務、ファイナンス、CSRと様々なメンバーが参加し、交流を深めました。

マテリアルunitスローガンは RISE！チームワーク良く、全員でスキルアップを目指します！

マテリアル unit キックオフミーティングは今回で 2 回目です。昨年、「One Team」をベースに業務を遂行する体制作りが必要になったことをきっかけに、キックオフミーティングを開催しました。今回はマテリアル unit 全員で取り組むべき課題を明確にしなが、情報共有をしっかり行い、スムーズに業務が遂行できるようにすることを目的にしています。私たちの今期の目標は『RTJ※1 ビジネスの重要な事業柱の一つになることを目指す』です。また、『RISE』というスローガンを独自に掲げています。年間を通じて、全ミッションの改善を図りながら、個人個人のスキルを高めていくという意味を込めています。現在のリーテックの事業柱はモバイル事業ですが、それに続く、太い柱になるよう、事業の礎を築く年にしていきます。ミーティングの後は懇親会を実施し、更に交流を深めることができました。今回は、マテリアルのメンバーだけでなく、他事業部の担当者にも参加してもらい、お互いに仕事を理解しあう良いきっかけになりました。

マテリアル ユニット長 徳永 盛浩

※1 RTJとは、Re-Teck Japanの頭文字



ミーティングの様子



参加メンバー



守口センターは今後、東京 RSC センター同様マテリアルに特化したセンターになる予定です！入庫出庫や在庫管理の見える化を徹底して行い、RTJのビジネスの重要な役割を担うセクションを目指します。

文京学院大学での授業がスタートしました！

学生と一緒に『リサイクル』について考えます。

4/19に文京学院大学コミュニケーション社会学科3年生のカリキュラムである「フィールドプロジェクト演習Ⅰ」に参加させていただき、CSR部の小野が教壇に立ってリーテックの紹介をしてきました。この授業では、学生が自分たちで連携先を選び、その選んだ企業や法人と一緒に社会貢献をします。リーテックの他にも、大学の近くの商店街を活性化するプロジェクトや、古民家を再生してゲストハウスを作る企業の担当者が参加していました。受講している学生は20名ほどでしたが、8名ものメンバーがリーテックと組みたいと申請してくれています。今後は彼らと一緒にプロジェクトを企画し、実行していきます。また、大学生との取り組みを通じて、文京区が主催する「文京エコ・リサイクルフェア」にも協力をする予定です。大学生と一緒にリサイクルについて考えながら、より多くの方にリサイクルについての啓発ができるような活動をしていきます。



文京学院大学
ふじみ野キャンパス
(埼玉県ふじみ野市)

個人情報保護規程を改訂しました。

リーテックで働く私たちは、個人情報を多く取り扱う場合があります。また、個人情報を提供することもありますので取り扱いには十分に注意する必要があります。なお、リーテックのウェブサイト内の「個人情報の取り扱いについて」のページも内容を更新していますので、必ずご確認ください。リーテックではISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）に基づき、情報の適切な保護・管理を行っています。

情報セキュリティマネジメントシステムとプライバシーマーク制度って何が違うの？

情報セキュリティマネジメントシステム

情報資産を様々な脅威から守り、リスクを低減させるための総合的なセキュリティマネジメントシステム。

- 国際標準規格 ISO/IEC27001（全世界共通）
- 個人情報・機密情報・技術情報等全ての情報の保護
- 情報の機密性・完全性・可用性を評価しリスクを低減（自社に合った運用）

プライバシーマーク制度（Pマーク）

個人情報について適切な保護処置を講ずる体制を整備している事業者（法人）を認定する制度。

- 日本工業規格 JISQ15001（日本国内のみ）
- 個人情報の保護
- 個人情報の取り扱いを適切に行う体制等の整備（決められた運用）

BtoCで多数の個人情報を取り扱う企業はプライバシーマーク制度が有効です。しかし、BtoBで守るべき情報が明確であり、業務の中でセキュリティの取り組みが必要な企業には情報セキュリティマネジメントシステムが有効だと言えます。リーテックは個人情報だけでなく、機密情報・技術情報等の全ての情報に対し、適切に管理する必要があるため、ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得しています。



IS 623657 / ISO 27001

個人情報とは・・・

氏名・住所・生年月日や、その組み合わせ、または指紋など本人を特定できる情報が個人情報に含まれます。メールソフトの中にあるアドレス帳などは「個人情報データベース」と呼ばれ、こちらも管理に注意が必要です！

編集後記



文京学院大学との取り組みで、大学に回収ボックスを置くというテーマで話をしていた時に、「インスタ映えるボックスを置こう」という意見が大学生から出てきました。リサイクルすることがオシャレとか、物を大切に人がカッコいいとか、本当にそういう世界になったらいいなと思います。これからも大学生と一緒にいろんなアイデアを出しながら、できること・できないことを精査し進めていきます。CSR 小野真菜

RT JOURNAL

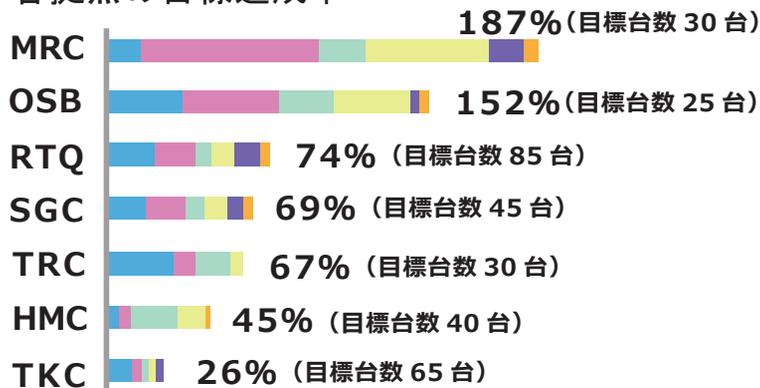
『私たちのメダルプロジェクト』社内回収が6月末で終了します。 目標回収数量まで残り7台。

リーテック全体での回収目標である 250 台まで、残すところあと 7 台となりました。回収期限は 6 月 30 日です。家にまだ眠っている不要家電がある方はプロジェクト終了時までには必ずお持ちください。5 月分の集計を終え、MRC(守口センター)が回収率トップとなりました。達成率の高い、守口センターや OSB(大阪支店)では社員のみならず、パートナー様からの回収など様々な方の協力も得ています。目標達成に向けて、引き続き、ご協力をお願いいたします。

メダル！ それはアスリートの汗と涙の結晶！
私たちが作ります！

最後まで、全社一丸となって取り組みましょう。

各拠点の目標達成率



※在籍人数 × 5 台を各拠点の回収目標としています。

青 12 月、赤 1 月、緑 2 月、黄 3 月、紫 4 月、橙 5 月の達成率を表しています。

CSRマスコットキャラクターが決定しました！

全 9 エントリーの中から、ついに CSR のキャラクターが決定しました。応募してくださった皆さま、ご協力有難うございました。



頭の葉っぱは「エコ」や「環境」の象徴。緑を大切にするという意味をこめました。

しっぽの渦巻きは、サーキュラーエコノミーを表しています。物を循環させていく大切さを伝えていきます。

原画
(OSB 田中克明さん案)

様々な進化を遂げました。



リスの他に最終選考に残ったのはこちらのキャラクターでした。



耳から電磁波を出し、携帯をクラッシュさせるウサギ。



サイ利用・サイ資源化リサイクルするサイ。

キャラクターの名前を募集します！

今回、決定したリスのキャラクターにはまだ名前がありません。愛着のわくような名前を社員の皆さまから募集します。

応募期限：2018 年 6 月 22 日 (金) 18:00

応募方法：アンケートフォームへ入力

募集内容：名前・性別・性格や特徴

※企業キャラクターに相応しい名前をお願いします。



ステッカーやファイルなどノベルティの作成も検討中です！

6月は環境庁が主唱する「環境月間」です。 リーテックも環境負荷を低減するための取り組みをします。

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めています。

引用 環境省「環境の日及び環境月間」

資源を削減する大切をエコロジカル・フットプリントを通じてご紹介します。

エコロジカル・フットプリントとは・・・私たちの生活がどれほど自然に負荷を与えているかを表し、その生活をこれからも続けていくためには、どれくらいの量の資源（生産するための土地と二酸化炭素を吸収するための土地）が必要かということを経済学で計算して、数字で表したものです。

日本のエコロジカル・フットプリント

もし、世界中の人たちが日本人と同じ生活を送るとしたら、必要な地球資源は **2.9 個分**！



日本の需要を日本でまかなうとしたら、日本は **7.1 個**も必要！



私たちが今の生活を続けていくと、将来世代に残す資源がなくなってしまう可能性があります。そうならないためにも、全員が少しずつ資源を守るために行動をする必要があるのです。環境月間はまさに、環境の保全についての関心と理解を深め、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高める良い機会ですので、ぜひ省資源について考えましょう。

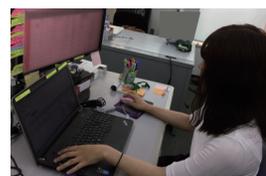
参考「日本のエコロジカル・フットプリント 2017 最新版」 - WWF ジャパン

リーテックの取り組み

私たちはリバースサプライチェーンによって、廃棄されるIT機器を再利用・再資源化することで、廃棄量を削減し、生産するために使用される資源の削減につなげています。また、事業のみならず、オフィスにおいても省資源・省エネルギーの取り組みを行っています。リーテックでは各拠点において、前年度使用している紙資源やエネルギー量に対し5%の削減を目標としています。各拠点ごとに取組み案を提示し、目標達成に向けて取り組みます。まずは自分たちでできることから、改善をしていきます。

守口センターの省資源の取り組み

5%削減目標を達成するための行動として、コピー機の紙使用について一番に思いつきました。営業などで多くのFAXが拠点に届くので、その紙を裏紙として使用し、更には印刷の際にPC画面を確認して、ミスプリントを減らすようにしています。もったいない意識が強いので、ネットで消耗品を購入する際は週代わりの割引や特典を多く活用します。ある企業で設定金額以上の商品を購入するとコピー用紙1冊（500枚）が付いてくるキャンペーンなどを利用し、コピー用紙にはコストをかけない努力もしています。拠点のメンバーにも協力してもらい、必要な備品も急ぎでなければ、値段の都合が一番よいタイミングで発注をしています。先日配信された節約ステッカーも受信後すぐに印刷して拠点に貼りました。守口センターのメンバーは何事にも積極的に取り組み、環境に対しての個々の意識が高いため、全員で協力して資源やコストの削減を行っています！



アドミニストレーター
武本 もねさん

他の拠点でも印刷を減らすために、今まで紙での提出だった書類を一部電子データ化し印刷回数の削減をしたり、資料のデータ共有を推進し社内での紙利用を削減するなど、各拠点に合った内容の取り組みを実行していく予定です。

編集後記



皆さまお待ちかねのCSR マスコットキャラクターが確定しました。最終的にはトニーさんに選んでいただきました。原画から、何度も修正（目の形や、ほっぺの形など・・・）を重ね、今のデザインになりました。私もイラストを描いたことがなく、最初はどうなることかと思いましたが、無事にキャラクターが完成してホッとしております。皆さま、名前も募集しておりますので、ぜひ宜しくお願いします！ CSR 小野 真菜

RT JOURNAL

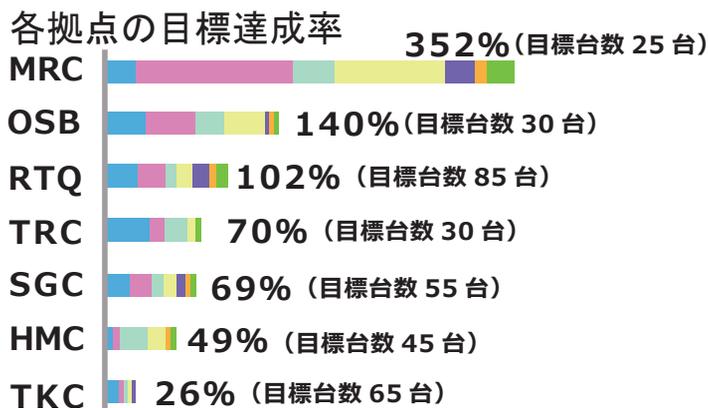


vol.08

『私たちのメダルプロジェクト』回収量315個。 リーテック全体目標250個を大幅に達成！



2017年12月1日から開始した「私たちのメダルプロジェクト」は当初の予定通り、2018年6月30日を持ちまして、リーテック社内での回収を終了致しました。集められた不要家電は、所定の手続きを踏み、オリンピックのメダルプロジェクトへ寄付致します。守口センター(MRC)では達成率352%、大阪支店(OSB)では140%と、目標を達成してからも大幅に回収量を増やしました。6月はプロジェクト最終月ということもあり、東京本社(RTQ)でも最後の駆け込みで達成率102%、他の拠点も追い上げを見せ、全体の回収量も315点と目標を大きく上回る結果となりました。このプロジェクトに際し、リーテック社員はもちろん、ご家族の皆さま、ご友人の皆さま、パートナー企業の皆さまのご協力のもと、多くの不要家電を集めることができました。この場を借りまして、お礼を申し上げます。



※在籍人数×5台を各拠点の回収目標としています。

青12月、赤1月、緑2月、黄3月、紫4月、橙5月、黄緑6月の達成率を表しています。

FY2019 RTJ Innovation Award 開催のお知らせ



RTJ Innovation Award とは？

リーテックに所属する社員、もしくはチームでFY2019(2018年4月1日から2019年3月31)の期間中、小さな改善・小さなアイデアから生まれた取り組みを募集し、その内容をリーテックが評価し表彰します。また、その小さな改善やアイデアからイノベーションに繋がる可能性がある内容については、FY2020年に向け、バックアップします。

募集内容

1. 事業部門（リーテックの事業に貢献する内容）
業務改善、効率化、標準化、利益拡大、PRに関わる内容
2. CSR 部門（社会貢献や環境に関わる内容）
地域貢献、働きがいにつながる取り組み、他社事業への貢献、社内コミュニケーション促進、働きやすい環境づくりなど
3. 新規提案部門（新規事業に関わる内容）
今までにない新しい取り組みの提案・実行
新規ビジネスになり得る可能性がある取り組みについて

審査ポイント

【ファイナンス視点】【人事視点】【営業視点】
【CSR 視点】【One Team, One management, One Goal 視点】

募集開始は2019年2月を予定しています。エントリーシートを改めて配布しますが、今回は1人1枚の提出となります。ぜひ、今からアイデアを膨らませ、改善や新規事業の取り組みをお願いします！



キャラクター名について

前回の募集から、19件の応募がありました。皆さま、ご協力有難うございます。可愛い口癖や、性格、中には歌（歌詞）まで作ってくださった方もいらっしゃいました。前向きに曲作りを検討しておりますので、作曲ができる社員の方がいましたら、ぜひCSR小野までご連絡をお願いします！現在、応募いただいた中から、名前を厳選中です。発表までもうしばらくお待ちください。

リーテック東京本社見学会を実施。 文京学院大学の学生8名がオフィス見学に訪れました！

6月28日にリーテック東京本社オフィスにて見学会が開催されました。今回、文京学院大学の学生8名が参加、オフィス見学をはじめ、リーテック社員から説明を受け、IT機器のリサイクルについての理解を深めました。また、学生たちによるプレゼン発表を実施し、リーテックと大学が一緒になり、今後どんな取り組みができるかディスカッションしました。

タイムスケジュール

16:00

オフィス内見学



16:15

16:30

代表取締役から事業内容の説明

16:45

ISO担当者から「企業の環境への取り組み」説明

17:00

17:15

休憩



17:30

学生からのプレゼン

17:45

18:00

解散



オフィス見学！

リーテックのオフィスの中に入り、各部署の説明や、社長室の見学、「私たちのメダルプロジェクト」に使用している回収BOXなどを見てもらいました。

リーテックの社員から説明！

事業内容やグループ会社についての説明を受け、理解を深めました。また、企業と環境問題について学び、学生の皆さんに改めてリサイクルの大切さに気付いてもらいました。

学生がリーテックへプレゼン！

大学のカリキュラムにあわせて、自分たちが計画する「イベント出展」や「アンケート調査」についてプレゼンを実施。今後、いろいろと連携をしながら、効果的な携帯電話の回収について研究し、提案してもらいます。

今後、連携して取り組むイベントについて

地域のリサイクルイベントへ出展



文京区主催のリサイクルイベントへの出展を予定。子供向けに、リサイクルの必要性や大切さについてパネル説明やクイズを実施します。



啓発パネルやクイズの作成に必要となる、リユース・リサイクルについての情報や知識などを提供します。また、リーテックが回収した製品の部品など、ブースの展示品として貸し出すことも検討しています。



文化祭での携帯電話回収

文化祭でリサイクルについての啓発パネルを展示します。また、事前に学生へリサイクルに関する意識調査を行い、その調査結果を元に携帯電話回収ボックスを設置し、リサイクルに繋がります。



文化祭で回収した携帯電話はリーテックが責任をもって処理します。また、回収時の注意点やデータの取扱いについてもしっかり指導し、参加者が安心して携帯電話をリサイクルすることができる環境づくりをします。

2018年8月に東京RSCセンター（TRC）にて『RSCリサイクル体験会』を実施します。

東京本社の見学会に来てくれた学生8名が今度はTRCにリサイクル体験会に来てくれます。リーテックの主要事業であるリバースサプライチェーン（RSC）について説明を受け、センター内部を見学する予定です。当日は学生それぞれがITもしくはモバイル機器の分解作業を体験します。普段、あまり見ることのできないIT機器の内側を実際に見て、希少金属がどこに含まれているのか、どの素材がリサイクルできるのか等、金属マテリアルについての理解を深めてもらうことを目的としています。



東京RSCセンター

編集後記



大学生との連携プロジェクトが本格化してきました。私も大学時代に3ヶ月間企業へインターンシップへ行きましたが、そこで資料作成の仕方やPCの使い方を一通り教わり、その経験が今に生きていていると思っています。私もこのプロジェクトを通して、学生たちにリサイクルの大切さを教えるだけでなく、将来役に立つようなビジネススキルについても教えていきたいと思っています。

CSR 小野 真菜

日本通運グループ ワンビシアーカイズ様と6/1より業務提携を開始 共同でニュースリリースを発表しました。

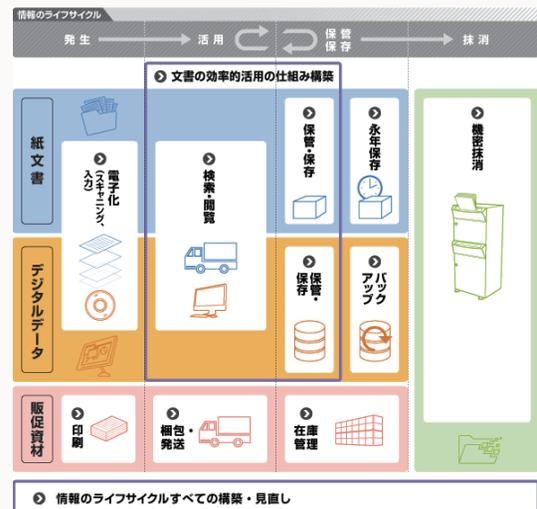
7/25 にリーテックは株式会社ワンビシアーカイズ様と共同でニュースリリースを発表、17 件のメディアに反響がありました。企業・団体が保有する記録メディアや機器のデータを機密情報漏洩防止の目的で確実に論理消去するサービスを提供するために、6/1 より業務提携を開始しています。情報管理に高度なコンプライアンスが求められている昨今、保有している機密情報が不要になった際には適切な処理が求められます。従来はメディアの破砕や強力な磁気を当て、使用不能にする処理方法が多く用いられてきましたが、近年ではより確実なデータ消去が求められるとともに、資源の有効活用の観点からデータ消去したメディアを再利用するケースも増えてきました。そのため、ソフトウェアを用いた論理データ消去のニーズが高まっています。両社の提携により機密情報を含むデジタルデータも確実な処理を必要としているお客様に作業証明書の発行を伴う論理データ消去サービスを提供します。なお、今後はメディア破砕や消磁処理のサービスにも範囲を拡大する予定です。

株式会社ワンビシアーカイズ様について

創業以来、一貫して『企業の情報資産の安全確保と管理の効率化』を追求し、日本のビジネスシーンにおけるレコードマネジメントを常にリードしています。堅固なセキュリティ体制のもと、重要な情報資産の発生段階から活用、保管、抹消までのライフサイクル全てをカバーした総合的サービスを展開。現在は、金融機関などの大企業や官公庁を中心に、およそ 4,000 社のお客様に様々なソリューションを提供しています。

<会社概要>

称 号 株式会社ワンビシアーカイズ
 代 表 者 代表取締役社長 田淵 秀明
 所 在 地 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス
 設 立 1966 年 4 月 1 日
 事業内容 情報資産管理事業、
 保険代理店事業（生命保険・損害保険）
 資 本 金 40 億円



総合フロー図

リーテックのリバースサプライチェーンマネジメントとは！？



製品が原料からお客様の手元にたどり着くまでを「サプライチェーン」と呼んでいますが、私たちが行う「リバースサプライチェーンマネジメント」では、お客様からお引取りした不要な IT/ モバイル機器を一番価値の高い状態でサプライチェーンに戻す作業を行っています。回収した機器は、データ処理を行い、国内外へ向けたリユース、再部品化、再資源化するなど、お客様それぞれのご要望に沿いながら、一番価値の高い処理をご提案し、対応しています。IT/ モバイル機器に含まれる機密データは専用のソフトウェアによるデータ消去、磁気破壊、物理破壊を選択していただくことが可能です。それぞれの処理後には作業証明書をご提出します。高いレベルで市場に再出荷することにより、お客様に利益を還元し、資源を繰り返し使用することで、サプライチェーンにおいても製品の製造工程における二酸化炭素の排出量を削減しています。

リーテックのマスコットキャラクターの名前が決まりました！



リサコ(Recyco)です。よろしくね！

口癖 「それ、リユース・リサイクルできるんじゃない？」
性格 甘党、可愛いものが好き、節約が好きな女の子。
いつも鼻歌を歌っている。

厳選なる審査のもと、「リサコ」が選ばれました。リサイクルを促進するキャラクターとして今後活躍していく予定です。また、現在リサコが描かれたステッカーを作成しております。完成次第、各拠点へも配送させていただきますので、ご自身で使用してPRしていただいたり、営業の際に配布していただくなど、活用をお願いします！

まだまだ暑さが続きます。熱中症に厳重な注意を！

今年は6月より記録的な暑さが続き、7月に入ってから各地で38度以上の極暑の日もありました。暑い環境は熱中症の原因となるだけでなく、集中力の欠如と疲労の蓄積により、労働災害や事故にも繋がる可能性もあります。日々十分な睡眠と栄養のある食事を心がけ、熱中症対策を十分に行ってください。

熱中症にならないために

- ・直射日光を避け、風通しのよい場所を選んで作業を行う。
- ・こまめな休憩と水分・塩分(ミネラル)を早めに取り。
- ・体調が悪いときは無理をせず、リーダーや責任者に申し出る。
- ・首周りやわきの下など血管が皮膚表面に近い箇所を冷やす。
- ・業務で車を運転される方は、こまめな休憩を心がける。

熱中症の応急処置！

熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・大量の汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・高体温など

呼びかけに**応じません** → 救急車を呼び、涼しい場所へ避難。体を冷やす。

呼びかけに**応じます** → 涼しい場所へ避難し、体を冷やす。

水分を自力で摂取できますか？

摂取できません → 医療機関へ。

摂取できます → 水分と塩分を補給(水だけでなく塩分も補給する)。

※症状がよくなる場合は医療機関へ行き、診察をしてもらってください。

豆知識！

ちょうどいい塩分量は1リットルの水に対し塩1~2g程度！長時間の労働やスポーツなどにより汗を大量にかくと、体内の水分とともに塩分やミネラルも奪われてしまいます。そこに水分補給だけを行うと、血液中の塩分・ミネラル濃度(体内における塩分やミネラルの割合)が低くなり、様々な熱中症の症状が出現するのでお気をつけてください！

編集後記



リーテック初となるプレスリリースの配信に携わりました。人に伝えるためには自分がまず理解しなければいけないということを念頭に置き、短い期間ながらも先方と打ち合わせをし作成をしました。無事に配信することができ、WEBメディアにも取り上げていただきました。リリース作成に関わっていただいた皆様、本当に有難うございました。今後もリーテックをどんどんPRして参ります！

CSR 小野 真菜

リサイクル体験会 レポート！

文京学院大学の学生さんが東京 RSC センターにて工場内部の見学や携帯電話の分解作業を体験！



2018年8月8日、文京学院大学の学生さんがリーテック株式会社 東京 RSC センター (TRC) を訪問してくださいました。工場内部の見学、リサイクルについての説明、携帯電話の分解作業など、実際に体験することで、リサイクルを身近なものに感じていただきました。



1



工場内部の説明

まずはじめに、工場内部の説明を受けます。基本的な情報を得てから見学に出発！



2



工場内部の見学

実際に破砕の様子を見学。大きなシュレッダーが基板を細かくしていきます。



3



リサイクルについて学習

3R (リデュース・リユース・リサイクル) の必要性やリサイクルに関する社会問題について勉強します。



4



携帯電話の分解作業

特殊工具を使って、携帯電話を分解。いつも使っている機能はこんな部品からできているんだという発見も！



5



標本が完成！

全部の体験を終えると、修了証がもらえます。



TRC 内に『RSC セミナールーム』が完成！

使っていなかった部屋をリノベーションして、ショールームを兼ねたセミナールームにしました。壁を塗り替えたり、基板を陳列したり、ポスターを掲示するなど、作業は全て TRC のメンバーで行いました。机やショーケース、モニターなどの備品も回収品を利用するなど、リユース度の高いショールームになっています。今後も TRC では体験会を実施し、多くのお客様へリサイクルの大切さを伝えていきます。

文京学院大学 × リーテック 8/18 文京区主催の「ステージエコ」へ出展しました。



ステージエコはリユース・リサイクルを促進するためのイベントです。会場ではフリーマーケットが開催され、各家庭で不要となった生活用品を持ち寄り、必要とする人に安く譲ることで、資源の再利用とごみの減量を促進していました。文京学院大学とリーテック合同のブースでは、リサイクルの必要性などを書いたパネルの展示やクイズを実施。リサイクル体験会で作成した「携帯電話の標本」も来場者に好評でたくさんの質問をいただきました。

次回は 10/27 に文京区主催の環境イベントへ出展するので、今回以上に楽しいブースになるよう、学生と一緒に企画内容を検討していきます。

リーテックのセールス業務に1日密着！

ある日の神野さん

リーテックの営業は2種類あります。お客様から不要機器を買取らせていただくBD (Business Development) と買取りした製品を販売するSales。買取った製品はきちんとデータ処理(専用ソフトによる上書き消去・磁気破壊・物理破壊)や細かな点検作業を行い、お客様の要望に沿ってリユースもしくはリサイクルされます。今回は、リユース製品として価値の高い状態で市場に再出荷することができる「国内Sales」担当の神野さんに密着し、日ごろどんな商談をしているのかを取材してきました。その中の一部を皆さまにお伝えします！



今回は商談に1日密着しましたが、Salesの業務はこれだけではありません！

Sales業務の流れ



今回のRT JOURNALでは検品作業の様子と納品についてのレポートをお届けします！

リーテックが販売する製品は、お客様から買取ったIT/モバイル機器です。そのため、入荷が決まってからでないと製品の種類や数量が確定しません。しかし、国内リユースできる製品は鮮度が求められるため、価値が高いうちに販売するにはスピーディな対応が求められます。Salesはお客様の希望納期にあわせられるように、BDや処理を担当するセンターと密に連絡を取り、対応をします。また、最後まで販売する製品に責任を持つため、倉庫で行う製品の検品作業の確認を行い、納品もドライバーと一緒に各取引先様の工場までお届けしています。今後もお客様や社内のメンバーとコミュニケーションをうまく取りながら業務を進めていきたいと思っています。



営業部 部長 神野 昇

編集後記



昨年から実施したいと騒いでいた、工場見学を無事に開催することができました。TRCの皆さんやマテリアルunitの皆さんが、いろいろと協力してくださり、私の想像を遥かに超える「RSCリサイクル体験会」ができました。本当に感謝しております。この8月で、私が入社して1年が経ちました。今後も新しいことにチャレンジしていきたいと思っていますので、引き続きご協力のほど宜しくお願いします！

CSR 小野 真菜

社内における環境活動の実施。 新たなシステムの導入でペーパーレス化を推進。



経理処理システム「free」の導入

今まで紙で提出をしていた、「経費精算」や「支払依頼書」などをシステム化し印刷をなくすことで、紙資源の大幅な削減を目指します。また、最近では請求書のやり取りなどをデータで送るケースも多くなり、システム上で発行した請求書をお客様へ送ることも可能となります。今後も様々な申請をワークフロー化します！

Web 給与明細「Payslip pro」の導入

今まで、紙で配られていた給与明細が Web で確認できるようになります。Web 上でいつでも確認ができるようになるため、紛失等の心配がなくなります。自宅 PC に転送し、PDF 保存も可能なので、印刷して保管する必要もありません。10月25日分の明細から導入されることになりましたので、皆さんぜひご確認ください！

自分たちにできる環境への取り組み。

私たちはリバースサプライチェーンマネジメントによって、廃棄される IT 機器を再利用・再資源化することで廃棄量を削減し、生産するために使用される資源の削減につなげるなど、環境に貢献するビジネスを行っています。今後はビジネスだけでなく、従業員 1 人ひとりが 3R を推進し、環境に配慮した行動を意識していきましょう。

プラスチックカップの使用廃止とマイボトルの推進。

リーテックでは今までウォーターサーバーと一緒にプラスチックカップを設置していましたが、プラスチックが環境に及ぼす影響を考慮し、使い捨てカップの使用を廃止します。ニュースなどでも、マイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）について取り上げられていますが、海にたどり着いたプラスチックを魚などが餌と間違えて飲み込むと、めぐりめぐって私たちの体内に取り込まれる可能性があります。海の生態系に影響を与えるだけでなく、それを食べる陸の生態系にも関わってくる問題であることを認識し、環境のために私たちのできることを実施していきましょう。そこで、今回皆さんにお願いしたいことは、マイボトル・マイカップの使用です。最近では、多くのオシャレなボトルが販売されています。保温性や携帯性を重視したもの、洗いや飲み口が広いものなど、これを機に自分だけのオリジナルボトルを探してみたいはかがでしょうか？



💡 プラスチックの豆知識 ～プラスチックにもいいところがある！～

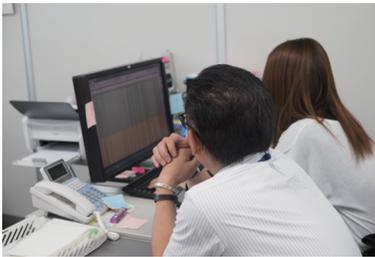
プラスチックは誕生して約 100 年。世界全体では、2 億 8800 万トン、その内、日本では 1054 トン（2012 年 日本プラスチック工業連盟統計）のプラスチックが生産されています。プラスチックが比較的短い時間で普及したのは、紙・木材、金属、ガラス、陶磁器、コルク、天然繊維などの素材を代替してきたからです。単に代替しただけでなく、プラスチックの特性を活かし、プラスチックにしかできない役割を果たしてきたからです。その多くの特性を活かすことで、持続可能な社会づくりに貢献している部分もあります。

たとえば、紙や木材の代わりにプラスチックを使うことで、熱帯雨林の保護、砂漠化の抑制につながり、生物多様性の保護に貢献していたり、金属やガラス、陶磁器の代わりに使うことで、輸送効率化、流通性、燃費の向上につながり、地球温暖化の抑制や化石資源の節約に貢献しているなど。一概に悪いことばかりではないのです。

リーテックのセールス業務に密着 第2弾！

今回は、セールス神野さんが商談前に必ず実施するという、グレード確認の現場に密着しました。

BD (Business Development) が買取った製品はアイテムや処理方法により選別され、適切なセンターへ運ばれます。リユースが可能な製品は、データ消去を行った後、傷の有無によりグレードが分けられます。センターが仕分けしたグレードに間違いがないか、更に厳しい目で二重チェックを行い、お客様に提出するリストに誤りがないように厳重に確認します。この確認作業でグレードが変わることもありますので、とても重要な作業です。今回は相模原センターへ納品された製品を現場のリーダーである伊佐さんと一緒に確認をします。



グレーディング結果のリストを2人で確認し、数量や内容を把握します。



製品を1点1点確認し、記載事項やグレードが合っているか見ます。



確認した製品はまた元の箱にしまいます。

今回の確認で、7台の製品のグレードが変わりましたが、割合からすると少量であり、相模原センターのグレーディングのレベルが高いということが裏づけられました。確認作業は、すべて人の目で行っているため、見落としがあったり、気付かなかつたりする場合がありますが、こうして、複数の人の目を通すことで、間違いを事前に防いでいます。今後もお客様が安心して製品を購入できるよう、適正なグレードで製品を提供してまいります。

文京学院大学 連携プロジェクト告知！

10月に開催される『あやめ祭』にて学生がお客様の不要携帯電話を回収します！

10月20日、21日に文京学院大学ふじみ野キャンパスで開催される『あやめ祭』(学園祭)にて、学生がリサイクルに関するブースを出します。リサイクルという言葉は世の中に溢れていますが、実際に行動できる人はどのくらいいるのだろうかという疑問から、実際に回収ボックスを設置することになりました。今回、学生が回収した携帯電話はリーテックで処理を行い、利益については慈善団体へ寄付をいたします。ブースを訪れた人が3Rについて考え、自分たちの生活の中で物を大切に扱ったり、リユースやリサイクルのある暮らしを心がけてもらうことを目指します。



文京区主催の『文京 エコ・リサイクルフェア』へ出展します。

10月29日に文京区にある教育の森公園で開催される『文京 エコ・リサイクルフェア』へ出展し、子供たちに金属リサイクルについて学んでもらいます。ブースには実際に金属が含まれている鉱石や、学生たちがリーテックのリサイクル体験会で分解した携帯電話を展示して、いろんなところに金属が含まれていることを知ってもらいます。また、金属をリサイクルしないとどうなってしまうのか、リサイクルした後はどう変化していくのか、パネルを使って説明を行う予定です。子供たちが、早い段階でリサイクルについて学び、大切さを知ることとはとても重要であると考えます。リーテックは、学生たちがしっかり説明できるように知識の面でサポートをします。



編集後記



今回、マイクロプラスチックについて記載しましたが、海洋ゴミ問題の大きな原因はゴミの捨て方にあると思っています。ポイ捨てしたものが風で飛ばされてしまったり、コンタクトレンズをトイレや流しに捨てたことで海に流れ着いてしまったり…。使用を抑制することも大切な取り組みの1つだと思いますが、リユースなのかリサイクルなのか廃棄なのか、きちんと選択して適切に処分することがとても大事だと思います。 CSR 小野真菜

RT JOURNAL

文京学院大学が参加する、文京区主催のイベント、「文京エコ・リサイクルフェア」にリーテックが協力。

リーテックは10月27日に文京区主催の「文京エコ・リサイクルフェア」へ文京学院大学の学生8名と一緒に出展し、金属リサイクルについてのパネル展示やクイズを実施しました。

リーテックは2018年4月より、文京学院大学 人間学部 コミュニケーション社会学科3年生のカリキュラムである、「フィールドプロジェクト演習」にて連携企業の1つとして学生8名と一緒に金属リサイクルの啓発活動に取り組んでいます。8月にはリーテックの処理センターである、東京RSCセンターにて実施した「リサイクル体験会」に学生を招待し、実際に製品が分解される様子や、破砕機による処理の見学をしてもらいました。金属のリサイクルの必要性や方法などを学習した後は、実際に自分たちで携帯電話を解体して標本を作り、金属リサイクルについての知識を深めました。今回は、その集大成として、「文京エコ・リサイクルフェア」へ出展し、『これで君も金属博士!』と題して、金属リサイクルについてパネル展示や実験型クイズを実施し、学生たちが学んだことを多くの方に知ってもらう機会をつくりました。



会場の様子

「文京エコ・リサイクルフェア」当日の様子

文京学院大学のブースには200名以上の方が訪れました。

パネル、携帯電話の分解標本、鉱石標本、マグネット式の携帯電話の模型などを展示。実際に触ったり、近くで見たりしながら、携帯電話と金属の関わりについて知ってもらいました。クイズで答えた子供たちには、学生たちがつくった「金属博士認定書」をプレゼント。多くの子供たちが誇らしげにしながらブースを後にしました。



クイズに答える子供たち



携帯電話の解体標本



金属博士認定書

文京学院大学「あやめ祭」で携帯電話の回収を実施。

集められた携帯電話はリーテックが責任を持って処理し、収益金を寄付致します。

10月20日、21日に実施された文京学院大学の大学祭「あやめ祭」にて、学生たちが金属リサイクル促進のために、不要携帯電話の回収を行いました。その結果、8台の携帯電話が集まりました。彼らが出展したブースには、携帯電話の回収ボックスだけでなく、事前に大学内で実施した携帯電話のリサイクルに関するアンケート調査の結果や、リーテックの「リサイクル体験会」での様子をまとめたパネルも展示されていました。また、子供たちにも関心を持ってもらいたいということから、特大のゴリラのパネルや、それを助ける回収戦隊ケータイアツメンジャーの顔出しパネルを設置。多くの子供たちがそのパネルと一緒に写真を撮っていました。今回、集められた携帯電話はリーテックが引き取り、データ破壊・破砕処理を行い、精錬所へと運ばれ、また新たな金属に生まれ変わります。また、収益金は大学が希望する慈善団体へ寄付をいたします。今後、リーテックは事業のみならず、寄付活動にも力を入れてまいります。



実際に回収した携帯電話

携帯電話とゴリラの関係とは？

今回、大学生と一緒に金属リサイクルの啓発パネルを作成する際に、携帯電話を取り巻く様々な社会課題や環境問題があるけれど、一体どうやってお客さんに伝えたら、興味を持ってもらえるかという企画会議にすごく時間をかけました。そして、いろいろある課題の中から、「携帯電話とゴリラの関係」についてパネルを作成し、ゴリラを救うためにも携帯電話をリサイクルしようと呼ぶことにしました。

絶滅危惧種に指定されている東ローランドゴリラ。
その原因は森林の減少と鉱物の違法採掘による密漁が関係していた。

コンゴ民主共和国は長く内戦が続いていました。その一因に、反政府勢力が鉱物資源である「タンタル」の収入を武器の購入に当てていたことが挙げられます。タンタルは希少価値の高い金属で、埋蔵量のほとんどがコンゴの森林の中にあります。採掘されるタンタルの多くは、コンゴで使用されずに、携帯電話などの部品の原料として先進国へ輸出されていました。コンゴの大半は生物多様性の豊富な森林であり、その原生熱帯雨林は、東ローランドゴリラの生息地でした。タンタルを発掘したい人々は、多くの木を伐採し土を掘り起こします。そうすることでゴリラは住処を失い命を落としてしまったり、密猟者にすぐに見つかり食料にされてしまったりして、個体数をどんどん減少させたのです。ゴリラは森を育てる役割をしています。森を歩き回ること古い枝を折り、薄暗い森の中で日向を作り出すことで、種子を目覚めさせ、新しい森を形成します。そのため、ゴリラが減少することで森林の減少に拍車がかかりました。また、長引く紛争により、多くの人が命を落としました。

今では、情報開示を義務づける紛争鉱物条項を設けた金融規制改革法(ドッド・フランク法)が成立され、武装集団に資金的に寄与し、深刻な人権侵害に荷担していないかどうかを確認するために、企業に対して間接的に紛争鉱物の使用抑制を促しています。



携帯電話をリサイクルして全ての金属を抽出することは高い技術が必要となり、効率を考えると難しい部分もありますが、全部でなくとも、携帯電話からリサイクルできる金属は確実にあります。まずは、私たちがリサイクルする意識を持ち、物を大切に扱いましょう。

参考：朝日新聞デジタル 2010年10月17日 <http://www.asahi.com/eco/NGY201010160014.html>

リーテック ISOの取り組み！今月の活動テーマは「5定の推進」

リーテックは2ヶ月ごとにISOに関する活動テーマを設け、「安全・健康で明るく楽しい職場」を目指しています。

今月のISOの活動テーマは「5定（定置・定量・定物・定時・定箱）の推進」です。普段から5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）に取り組んでいますが、5定の推進により、職場環境の改善（美化）や業務効率の改善に繋がります。作業場、倉庫内のみならず、机の上やキャビネット、電子媒体のフォルダーなども対象です。決められた配置以外に物が置かれていると思わぬ怪我や事故にも繋がります。また、必要な人が必要な時に使えず、作業効率下がってしまいます。働きやすい職場にするために、社員全員で改善を進めていきましょう。

5定とは・・・

定置	物を置く場所や位置の範囲、高さを決めて表示をする。 (範囲や高さをテープ・張り紙で表示)
定量	置く物の量を決めて表示する。 (数量、●ヶ月分)
定物	置く物を決めて表示する。 (製品名、工具名、器具名)
定時	物を置く期間・時間を決めて表示する。 (仮置き期間、常時、●年●月まで)
定箱	物を置く・保管する箱や荷姿を決める。 (工具箱、救急箱、保管箱)

11月は品質月間です。

品質月間に伴い、リーテックは5定を推進するとともに品質向上についても見直しを行い、お客様満足度の向上を目指します。品質は、製品・サービスだけではなく、業務の品質も含まれます。

法令及び社内ルールを遵守し、誠心誠意・忠実・正確・適切で効率的な業務に努めましょう。

編集後記



RT JOURNALの発行を始めてから1年、発行数もvol.12となりました。毎月きちんと発行ができたのは、取材に協力して下さる皆様のおかげだと思っています。本当に、有難うございます。意外と編集後記に関するコメント（主に写真に対し）も多く頂き、細かいところまで皆さんが見てくださっていることを嬉しく思いました。今後も毎月発行していきますので、ご愛読いただきますよう、宜しくお願い致します！

CSR 小野 真菜

2018年5月に開設された尼崎センターが本格稼働！

リーテック最大規模のセンターでは IT 機器を中心に処理を行っています。

業務拡大に伴い、5月11日より兵庫県尼崎市に尼崎センターを開設しました。リーテック最大規模となるセンターでは、主に IT 機器のデータ処理（データの上書き消去、磁気破壊、物理破壊）をお客様のニーズに沿って対応し、一番価値の高い状態でリユース・再部品化・リサイクルとして再出荷しています。尼崎センターに届く製品は多くがリユース対象として入庫しますが、製品が破損しているなど再利用できずにリサイクルされる製品もたくさんあります。まだセンターが稼働したばかりではありますが、今後は再販売率を高め、より環境にやさしい事業を目指していきます。



尼崎センター外観

尼崎センター内部の様子

入庫した PC は検品した後に、データの破壊を行います。リーテックでは、データの上書き消去、磁気破壊、物理破壊より処理方法をお客様に選択していただき、希望に沿って作業をいたします。いずれの処理も作業証明書を発行しておりますので、安心してご利用いただけます。



データの上書き消去



磁気破壊装置



物理破壊装置

尼崎センターは開設から半年が経っていますが、清潔な環境を維持できるよう日々心がけています。定置管理や整理整頓を常に行い、広いスペースであっても、「どこに何があるか」がすぐに分かる状態になっています。本格的な稼働に伴い、今後取り扱う製品が増えても、5Sと5定の推進をしっかりと実施していきます。



管理番号を明記



定置管理の徹底



区画ごとに整理

センター内の課題をきちんと共有し、メンバー全員で改善を行っています。

オフィスに入ると、ホワイトボードにセンターの課題が箇条書きになっており、メンバー全員がすぐに確認できるようになっていました。立ち上げ当初は作業オペレーションの確立と、早期稼働させることを目標としていましたが、今後は効率化や生産性向上など、作業の中身について改善を行っています。尼崎センターでは、ITのみならず、モバイル等の処理なども今後増えていく予定です。新しいプロジェクトの運用や手順書などの準備を進め、どんどん業務拡大をしていきます。

リーテック I S O 統合マニュアルを改訂しました。

組織変更や業務内容の変更により、12月1日付で I S O の統合マニュアルを改訂しました。リーテックでは 3 つのマネジメントシステムの認証を受けています。きちんと仕組みを理解し、活用していきましょう。

リーテックが認証を受けているマネジメントシステムとは・・・

ISO9001
品質

ISO14001
環境

ISO27001
情報セキュリティ

今回改訂された統合マニュアルの対象は？

ISO9001

ISO27001

※ISO14001は環境マニュアルに記載されています。

ISOの認証はどうして必要なのか？

作業を行うとき、サービスを提供するときなど、社員がバラバラに行動してしまうと品質やサービスに差が出てしまい、最悪の場合お客様にご迷惑をおかけすることになります。そうならないために、マニュアルを作成し、その手順に沿って作業を行うことで同じ仕上がり（品質・サービス）にすることが必要です。品質だけでなく、データの取扱いについても、厳しくルールを定め、情報漏洩をさせないようきちんと管理することが必要となります。ISO の認証審査では、対象の作業や業務の処理がマニュアルどおりに進められているか（運用）を外部の審査員が確認し、正しく作業が行われていることが確認できて初めて認証があります。お客様に安心してリーテックのサービスを利用していただくためにも、第三者機関の認証は必要なものなのです。

ISOは認証を受けることが大切なのではなく、仕組みを理解し活用していくことが重要です。ビジネスツールとして ISO を有効に活用し、より良いサービスを今後も展開していきましょう。

従業員向けにコンプライアンステストを実施。

リーテックは法令を遵守し、倫理的に事業活動に取り組みます。

2018年1月よりリーテックコンプライアンスプログラムを制定しました。リーテックはリーテックグループの日本法人として、法令を遵守し、倫理的に事業活動を行うことに確固として取り組みます。今回、初めての取り組みとなるコンプライアンステストでは、「その行動がコンプライアンス違反になるか、ならないか。」「ある事例に対し、どんな行動が適切であるか。」などを問う 30 の質問を用意しました。『社会正義と企業利益のどちらかを取らなければならない状況に遭遇したら、迷わず社会正義を貫く』ということを基本に、以前から行っているから、上司の命令だから、といった既成概念・社内倫理基準で動くのではなく、社会通念と個々の高い倫理観と責任感を基礎として行動しましょう。リーテック正社員はコンプライアンステスト回答必須です。12月19日までにご回答をお願いします。

リーテック心得 PC 用壁紙

Re-Teck Japan 心得帖を配布してからまもなく 1 年が経ちますが、内容を忘れていませんか？ 心得の内容を記載した PC 用壁紙を 4 月から毎月 1 デザインずつ作成しており、ドライブの共有ファイルに格納しています。こちらもぜひご確認ください。



リサコ



4月さくら



8月ひまわり



11月もみじ



12月ゆきだるま

編集後記



今回、RT JOURNAL の取材で初めて尼崎センターへ行きました。（道中、湾岸線からの景色がとても綺麗でした。）お忙しい中、取材対応してくださった皆さま、有難うございました。初めてお会いした方もいましたが、RT JOURNAL 読んでますとっていただいて、すごく嬉しかったです！今後も皆さまに楽しく読んでいただけるように、工夫して作成をしていきます！

CSR 小野 真菜

NGOジョイセフ様との新しい取組みがスタート。 不要となった電子機器を回収し、収益金を途上国の女性支援に活用します。

公益財団法人ジョイセフ様は女性のいのちと健康を守るために活動している国際協力NGOです。すでに、切手や書き損じはがき、ランドセルなどを回収し、女性支援活動を実施していましたが、この度、電子機器（携帯電話やタブレット、パソコンなど）が回収対象に加わりました。携帯電話やパソコンには個人情報やデータが含まれています。リーテックでは、回収した電子機器に含まれる個人情報やデータを適切に処理（物理破壊）し、再資源化します。リサイクルにより得た利益はNGOジョイセフ様へ還元し、女性支援活動の資金として活用していただきます。



回収した携帯電話は破碎処理し、再資源化します。

ジョイセフ様に一度集まった不要電子機器は、リーテックの東京RSCセンターへ運ばれ、1台ずつ検品作業を行います。「受領証明書」をジョイセフ様に提出し、数量等に誤りがないか確認を行った上で、破碎処理を実施。破碎機による物理破壊を行うため、処理後は一切のデータの復元が不可能となります。破碎作業が終了した段階で、「破碎作業完了証明書」を発行。ジョイセフ様に内容をご確認いただき、その後破碎された電子機器をまとめて精錬所へ送ります。精錬所で溶かされた金属は、また違う形に変わり、市場へ流通します。



処理前の携帯電話



破碎機に投入



破碎機の様子



処理後の計帯電話

携帯電話やその他の電子機器には希少金属が多く含まれています。ジョイセフ様との取組みでは、貴重な資源を有効活用できるだけでなく、収益金を女性支援活動に活用していただくため、不要電子機器を送るという1つのアクションで「金属リサイクル」と「女性支援」の2つの社会貢献が可能です。

国際協力NGOジョイセフ様が主催する「WHITE RIBBON Run」のご紹介

世界では1日に約830人の女性が妊娠・出産・中絶が原因で命を落としています。「WHITE RIBBON RUN」は、その現実を知ってもらうため、「走ろう。自分のために。誰かのために。」をスローガンに3月8日国際女性デーに先駆け、日本全国、世界中に参加のアクションを促すチャリティファンラン大会です。同じ大会公式Tシャツを着て走ればどこでも誰でも参加が可能であり、バーチャル（オンライン上で写真や動画を投稿）で世界中のランナーが、ホワイトリボンの名のもとにつながり、エントリー費の一部が途上国の女性支援のための寄付金となります。大会日程は2019年3月2日と3月3日です。（参加場所により日程が変わります）詳細は「ホワイトリボンラン2019」で検索してください。



1月より「RTJ 学び塾」が始まります！

「RTJ 学び塾」とは、社員一人ひとりが持っている知識や技術を他の社員に共有し、教養の機会をつくるための取り組みです。リーテックは今後、人材の育成にも力を入れていきます。



学び塾では2つのコースをご用意しています。

エンタメコース

個人の持つ知識、技術、センスに関する内容であり、聴講者は自由参加。就業時間外に開催する。

マスターコース

事業に関わる内容であり、聴講は関連メンバーが対象。就業時間内に開催する。

講師はいずれもリーテックの社員が行い、全拠点スカイプをつないで開催します。

RTJ 学び塾マスターコース第一弾『財務三表の読み方』では、シニアファイナンスマネージャーの小林さんが講師となり、数値管理についてお話いただけます。今回の講義では、財務三表から見える在庫の不思議に迫ります。たくさんある在庫の「たくさん」ってどれくらいか、明確に人に伝えることができますか？学び塾を受けた60分後、あなたは在庫金額を確実に伝えることができるはず。今回はマスターコースのため、就業時間内の実施となります。詳細につきましては社内メールよりお送りいたしますので、ご案内をお待ちください。皆さまのご参加をお待ちしております。



リーテックグループ グローバル BDミーティングを開催。

各国の代表がリーテック中国に集結し、グループ全体のビジョンや進捗を共有しました。

12月4日、5日にリーテック中国にて『リーテックグループ グローバル BD (Business Development) ミーティング』が開催されました。リーテックJapanからは須藤社長、大橋副社長が参加。その他にも香港・アメリカ・ブラジル・ドバイ・オーストラリア・オランダ・インド・韓国・マレーシア・台湾・ベトナムなど各国の代表とBDの責任者がリーテック中国に集結し、グループ全体のビジョンや各国のビジネスの進捗を共有しました。世界25カ国に事業拠点をもち、昨年はオランダとベトナムに処理センターを新設。少しずつ事業規模を拡大しています。今後も「One World, One Family」というスローガンのもと、リーテックグループ丸となって、事業を進めていきます。



Ms. Linda Li CSO(Chief Strategy Officer) によるプレゼンの様子

昨年新設された処理センターの概観



オランダ プレダ



ベトナム ハノイ

文京学院大学「あやめ祭」で回収した携帯電話の収益金を寄付しました。

2018年10月20日、21日に実施された文京学院大学の大学祭「あやめ祭」にて回収した携帯電話の収益金560円をWWFジャパン様へ寄付いたしました。携帯電話に使用されている金属を採取するために環境破壊が行われていたり、動物の住処が失われてしまうという事実を知った学生たちが、少しでも環境保全や動物保護に繋がるようにと願い、WWFジャパン様への寄付を決めました。リーテックは今後も金属リサイクルの啓発を進めるとともに、社会貢献活動を続けてまいります。

編集後記



12月より、国際協力 NGO ジョイセフ様とのお取り組みがスタートしました。実は前々から携帯電話の回収に興味があったが、情報漏洩の観点からなかなか踏み出せなかったとのこと。破碎作業完了証明書の提出ができることをお伝えし、処理センターにて実際に携帯電話の破碎するところをご覧いただいたことで、今回のプロジェクトが実現しました。ご協力いただいた皆さま、有難うございました。 CSR 小野 真菜

社員の知識や経験を共有する「学び塾」がスタート！ 『財務三表の読み方』について、社内講師によるレクチャーを実施しました。

第1回目の「学び塾」は2拠点で開催され、1月29日に橋本センター、2月6日に東京江東センターで講義を行いました。受講は全拠点にスカイプをつなぎ、希望者のみの参加としています。営業や人事、センターにて作業を行う社員や拠点長など、部署も役職も関係なく様々な社員が参加しました。財務三表とはPL (Profit and Loss Statement) : 損益計算書、BS(Balance Sheet) : 貸借対照表、CS(Cash Flow Statement): キャッシュフロー計算書の3つの資料を指し、会社の経営状況を知る上で、とても重要なデータであると言えます。黒字倒産してしまうのはこんな場合、資産管理するために在庫の棚卸しが必要になる、などいろんな話を聞くことができました。



シニアファイナンスマネージャー
小林さんによる講義

財務三表を簡単に図解説明 (詳細については小林さんより共有された資料をご覧ください。)



今年度の文京学院大学との連携プロジェクト修了にあたり、報告会を実施。

1年間で3つのイベントを企画・実施し、大学内で不要携帯電話の回収などを行いました。

文京学院大学コミュニケーション社会学科3年生のカリキュラムである「フィールドプロジェクト演習」は1月17日の成果発表会をもって、通年の授業が終了いたしました。この授業では学生が連携したい法人を選んで、企業や行政などと一緒に社会貢献をすることを目的としています。リーテックと一緒にプロジェクトを実施した学生は金属リサイクルの啓発活動や大学祭で不要携帯電話の回収などを行いました。1月18日には最終報告会を実施し、中山教授と8名の学生たちがリーテックの本社を訪れました。報告会では、1年間の活動報告や大学内での携帯電話に関するアンケート調査の集計や分析、効果的な携帯電話回収の提案などをプレゼンしてもらいました。普段、事業としてIT/モバイル機器を回収し、リユースやリサイクルを行っています。改めて社員も金属リサイクルの重要性や啓発の大切さを学びました。**来年度は、また新しい3年生とプロジェクトを実施していく予定です。**引き続き、産学連携した活動を進めてまいります。



リーテックでの報告会の様子



報告資料の一部

マスコットキャラクター『リサコ』 LINE スタンプのデザインを社内募集！



リーテック Japan のマスコットキャラクターである『リサコ(Recyco)』のLINE スタンプを製作中です。こんな言葉をリサコに言ってほしい、こんな表情をしてほしいという希望を集め、スタンプ化します！

応募期限：2019年2月28日 18:00

応募宛先：CSR 小野（メールで応募ください）

応募資格：Re-Teck で働いている方なら誰でも OK！

※当選の発表はスタンプの発行をもって代えさせていただきます。



たくさんのご応募、
お待ちしております！

リサコ
Recyco (商標出願中)

無断のコピー等の使用を禁じます。
(画像が必要な方は小野までご連絡をお願いします！)

キャラクターデザイン当選の賞品を贈呈しました！

2018年1月にキャラクターデザインを募集し、見事当選した田中さんへオリジナルデザインのギフトカードを贈呈しました。

当選者コメント

応募した時は、まさかLINEスタンプになるなんて思っていなかったのですが、社員から可愛がってもらえるキャラクターになって嬉しいです。



大阪支店 田中克明さん

ISO年間活動計画において、2月はサイバーセキュリティ月間！

業務で管理・利用する情報の取扱いについて、改めて確認をしましょう。

リーテックは、お客様から回収した電子機器などに保存された情報を適切に管理し、確実にデータを消去することでお客様に信頼していただき、ビジネスを展開しています。私たちが業務をする上で、情報を的確に保護し、利用することはとても重要です。2月1日から3月18日までの期間、「サイバーセキュリティ月間」として、内閣府や警察庁からも様々な活動が行われます。この機会に、再度情報の取扱いについて確認をしましょう。

情報の取扱いについてのチェック項目

- 極秘、秘、社外秘、公開など、区分ごとに正しく取り扱っていますか？
- メール配信の際、宛先間違えないように注意していますか？
- 勝手に私物のUSBを使用していませんか？
- 机の上に資料を出したまま帰宅していませんか？
- 席を離れる際、PC画面が開いたままになっていませんか？
- 外出で電車移動の際、PCの入ったかばんを網棚に載せて眠っていませんか？

FY2019は
セキュリティインシデント0件！
引き続き、データの取扱いに注意しましょう！

FY2019 リーテック ISO の目標について おさらい！

FY2019(2018年4月1日～2019年3月31日の期間)リーテック Japan では「BQ(Beyond Quality)50」をスローガンとし、今年は常に「Go Beyond=超える」ことを目標としています。その目標を達成するべく、部署ごとにMBO(Management By Objectives)を設定しています。今一度、MBOを見返し、目標達成に向けてPDCAができているか、各自確認しましょう！



編集後記



今年の1月で、文京学院大学の現3年生との取組みが修了しました。一緒に悩んで、計画して、実行して、反省して、自分も大変勉強になった1年でした。時には厳しく指導をすることもありましたが、最後に学生たちから「たくさん怒られたけど、勉強になった」「エクセルやプレゼンスキルがあがった」など嬉しい言葉をいただきました。来年も新3年生と活動を続けていきたいと思っております！

CSR 小野 真菜

ISO9001/14001/27001の規格に対し、外部審査が終了。

審査機関 BSI による、再認証審査、サーベイランス審査、登録サイトの拡大審査を受審・承認されました。

2月26日から3月1日の4日間、審査機関 BSI による ISO 審査が行われました。ISO9001（品質マネジメントシステム）は「再認証審査」、ISO14001（環境マネジメントシステム）と ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）は「サーベイランス審査」、そして昨年より稼動した尼崎センターへの「登録サイト拡大審査」、この3つを目的とした外部審査を受審しました。私たちはお客様からお引き取りした機器に含まれているデータについて、きちんと取り扱う責任があります。その仕組みと運用が適切か、情報漏洩のリスクがないかなど、ISO の視点から確認し、承認していただきました。

サーベイランス審査とは？

マネジメントシステムが問題なく機能しているか、継続状況を確認するための審査です。年に1回もしくは2回実施するものです。

再認証審査とは？

認証の有効期限（3年）が満了する前に認証更新の適切性を確認するための審査です。期限が切れる前に更新の承認を得られないと認定を受けられません。

今回の外部審査を受けた拠点（リーテック全拠点）



相模原センター



橋本センター



東京江東センター



東京 RSC センター



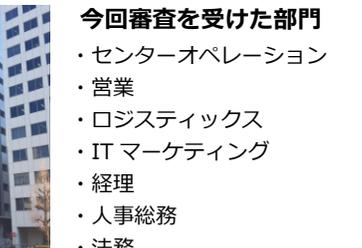
守口センター



尼崎センター



大阪支店



東京本社

今回審査を受けた部門

- ・センターオペレーション
- ・営業
- ・ロジスティクス
- ・IT マーケティング
- ・経理
- ・人事総務
- ・法務
- ・ISO 事務局

FY2019 RTJ Innovation Award 開催のお知らせ

リーテックに所属する社員、またはチームで FY2019(2018年4月1日から2019年3月31日)の期間中、小さな改善・小さなアイデアから生まれた取り組みを募集し、その内容をリーテックが評価し表彰します。また、その小さな改善やアイデアからイノベーションに繋がる可能性がある内容については、FY2020年に向け、バックアップします。

募集内容

1. 事業部門（リーテックの事業に貢献する内容）
業務改善、効率化、標準化、利益拡大、PRに関すること
2. CSR 部門（社会貢献や環境に関わる内容）
地域貢献、働きがいに繋がる取り組み、他社事業への貢献、社内コミュニケーション促進、働きやすい環境づくりなど
3. 新規提案部門（新規事業に関わる内容）
今までにない新しい取り組みの提案・実行、新規ビジネスになり得る可能性がある取り組みについて



詳細はメールをご覧ください。

リーテックのセールス業務に密着 第3弾！

リユース品としてモバイル端末を購入して頂いた企業様への納品に1日密着しました。

お客様から買い取りをしたモバイル端末はデータ処理（専用ソフトによる上書き消去・磁気破壊・物理破壊）や細かな点検を行い、お客様の要望に沿って、リユースもしくはリサイクルを致します。今回はリユースとして国内販売したモバイル端末の納品業務に密着しました。数量や距離によっては、運送業者へ依頼をして届ける場合もありますが、できる限り自分たちで責任を持ってお届けしたいという思いで、リーテックの営業部長である神野さんが自ら納品先を回ります。ドライバーは国内モバイル事業の現場リーダーである相模原センターの伊佐さんです。安全運転で効率よく納品をしました。



A 社様へ納品
何時から何時までと受け取り時間が決まっているA社様の倉庫へ、時間ピッタリに運びます。時間調整をしながら現地へ向かいます。



リーテックの処理センターを經由
破砕が必要な製品を相模原センターから東京RSCセンターへ移動。配送の無駄を無くすために、なるべく1回に纏めて配送。



東京江東センターに寄ってD社様への納品物をピックアップ！

AM9:00 出発 AM10:20 A社様納品 AM11:30 B社様納品 AM12:30 ランチ しばらく移動 AM15:30 C社様納品 AM16:00 TRC/TKC AM17:00 D社様納品 AM18:00 業務終了





B 社様へ納品
いつもたくさんご購入いただいているB社様の倉庫へ。今回は特別に倉庫の中も見学させていただきました！



C 社様へ納品
渋滞に巻き込まれたり、多くの信号に阻まれながらも、無事にC社様のオフィスに到着。急いで引き渡します！



ドライバーの伊佐さん。神奈川→埼玉→東京→千葉→神奈川と長距離の運転、お疲れ様でした。



B 社ご担当者様とランチ
倉庫近くの台湾料理屋さんで定食をいただきました。普通の定食にラーメンが付いて1000円以下！



D 社様へ納品
本当は3番目の納品先であるD社様でしたが、道路状況を鑑み、4番目の配送になるように途中でルート変更を行いました。そのおかげで、すべての納品先様への配達を18時までに終わることができました。D社ご担当者様も温かく迎えてくださり、無事に全納品が完了しました。

国内6つのセンターにてタウンホールミーティングを開催。

リートグループの方針を社員へ共有するためのミーティングを行いました。

12月から1月にかけて、リーテック社長の須藤さんが自ら国内の全事業所を訪問し、リートグループの今後の方針や現状の課題などを共有しました。12月に中国で行われた「リートグローバルBDミーティング（詳しくはRT JOURNAL vol.14を参照）」での発表資料についても紹介し、リーテックの課題や事業戦略について、社員の理解を深めました。各センターが離れていることもあり、普段の会議はスカイプを使用することが多いですが、実際に拠点を訪れることで、センタースタッフが悩みを相談したり、センターの作業オペレーションを確認する良い機会となりました。



編集後記



今回の外部審査でも、昨年に引き続き東京本社の議事録係として同席させていただきました。審査の中で、TRCで実施したリサイクル体験会について、「将来世代に環境問題について啓発できる良い取り組み」ということでお褒めの言葉を頂きました。来年度も力を入れて実施したい（できれば小学生向けに！）と思っておりますので、関係者の皆さまは、引き続きご協力をお願いします！

CSR 小野 真菜

リーテック 新社長就任のお知らせ

4月1日付でリーテック株式会社の代表取締役社長に就任いたしました大橋です。グローバルに事業を展開するリーテックグループの一員としての強みを生かし、更なる事業拡大に全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



代表取締役社長
大橋 歳幸

リーテックでは新しいサービスが続々と登場！

不要なIT/モバイル機器を買い取るだけでなく、お客様の業務をサポートするサービスも展開しています。

モバイルグレーディングサービス

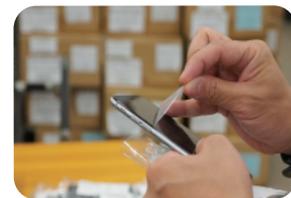
リユース端末を使用するには、正確に製品の状態を把握することが必要です。リーテックでは、お客様に代わりの確かな査定（グレーディング）を行うことで、ビジネスをサポートいたします。



歪みチェック



画面浮きチェック



傷チェック

リーテックでは、報告書から端末に添付するシール表記まで、カスタマイズが可能です。お客様のグレーディング基準をもとに査定を行い、ランク付けをすることで返送後のお客様の負担を大幅に削減します。

IT 機器キittingサービス

IT 端末の新規導入・リプレース時に発生する初期設定作業は、時間や場所、人員等のコストが高みます。リーテックはこれを代行し、業務負荷・コスト削減に貢献いたします。



- OS インストール・初期設定
- ソフトウェアインストール
- ネットワーク設定
- 個別設定
- 動作確認
- 管理シールの作成・貼付

お客様の声

2000台のスポットの依頼を2週間で対応してもらえたので大変助かりました。人員の増員、スペースの確保をする手間も省けた為、コストを掛けずに予定通りレンタルすることができました。

モバイルリペアサービス

モバイル端末に不具合が発生すると仕事の遅れに繋がる可能性があります。リーテックでは正確かつ迅速な修理で企業様をサポートいたします。



開閉作業



場合に応じて温める



修理

現在、リペアサービスについては総務省登録業者制度の登録を受けるための準備を行なっております。また、各サービスの詳細につきましては、営業担当へお問い合わせ下さい。

ISO9001/14001/27001 認証登録の更新が完了！

昨年稼働した尼崎センターも ISO の認証を取得しました。



ISO14001/ 環境

ISO9001/ 品質

ISO27001/ 情報セキュリティ

2月26日から3月1日の期間に実施された審査機関 BSI による外部審査について、4月4日に認定登録証が届き、正式に認証の更新が完了しました。更新は完了しましたが、ISO のマネジメントシステムは認証を受けることが目的ではなく、きちんと運用ができていくことが重要です。同じ作業は誰が行なっても、同じ品質のサービスが提供できるように、私たちは仕組みづくり・運用・改善を行なっていきます。FY2020 がスタートし、新しい取り組みもどんどん増えていくと思いますが、ISO のツールをうまく活用しながら高品質なサービスを提供していきましょう。

LINEスタンプ発売開始！

リーテック株式会社 公式キャラクター

「リサコ 日常で使えるスタンプ」

RT JOURNAL vol.15 でリーテック社員から募集したコメントやデザインのアイデアを取り入れた、LINE スタンプの販売を開始しました。LINE スタンプのためだけに描き下ろした表情や仕草にもご注目ください！

<LINE スタンプ概要>

スタンプ名：リサコ日常で使えるスタンプ

アカウント名：リーテック株式会社

カテゴリ：クリエイターズスタンプ

種類：40 種類

価格：1 セット 50 コイン (120 円)



←ご購入はこちらから

文京学院大学「まちラボ」にリーテックが協力。

新3年生と金属リサイクルの啓発をしていきます。

文京学院大学の3年生のカリキュラムである「まちラボプロジェクト演習」に今年度もリーテックが協力をさせていただくことになりました。昨年度の取り組みでは、文京区が主催する環境イベントや文化祭での携帯電話の回収を行いました。今年度はそのイベントにプラスにして、新しいことにもチャレンジしていきたいと思っています。大学生のリサイクル意識を醸成するだけでなく、企画を通じ様々な世代の方への啓発活動を行うことで、人に伝えることの難しさや、効果的な提案方法について考える機会をつくりたいです。昨年は企画立案から、企業への提案、イベントの準備、実行、報告と1年かけてじっくりと勉強してもらいました。慣れないパソコンの操作や多様なタスク管理、人前で発表する時の緊張を経験するなど、大学生活だけでは得ることのできない体験を今後も提供していきたいと思っています。



教壇で学生に説明している
リーテック CSR 小野

編集後記



やっと、リサコの LINE スタンプを販売することができました！社員の皆さまに可愛いがっていただき、育ての親としても嬉しく思っています。今後、中国語バージョンなども制作をする予定です。追加のスタンプも少しずつ制作していきたいと思っておりますので、また「こんなスタンプが欲しい」というものがありましたら、ぜひお知らせ下さい。できる限り作りたと思っています！

CSR 小野 真菜

NGOジョイセフ様の電子機器回収が本格稼働！

3月と4月にジョイセフ様に集まったIT/モバイル機器を引き取りに伺いました。

公益財団法人ジョイセフ様は女性のいのちと健康を守るために活動している国際協力 NGO です。リーテックは NGO ジョイセフ様が集められた電子機器を引き取り、データが含まれている IT/ モバイル機器を適切にデータ処理（物理破壊）し、再資源化した利益を還元、女性の支援活動の資金として活用していただくお手伝いをしています。今回は、3月と4月に1回ずつ引き取りを行いました。ご担当者様の立ち会いのもと、機器が引き渡され、リーテックの自社便にてその日のうちに処理をする東京 RSC センターへ運ばれました。運ばれた機器は点検され、数量等をきちんと確認した上で破砕処理いたします。各作業工程ごとに「受領証明書」「査定報告書」「破砕作業完了証明書」などの証明書をご提出いたしますので、その内容をご確認いただきながら丁寧に進めています。



資源の
再利用により
世界の母子の
支援に繋がります。



公益財団法人ジョイセフ様は他にも様々なものを回収し、支援に繋げています。

62 円ハガキ 43 枚

もしくは

使用済み切手約 2kg

集めると・・・

たとえば、

ザンビアで

1人の女性が助産婦の立ち会いのもとに
施設で安全に出産をすることができます。



詳しい内容につきましては、ぜひジョイセフ様の HP よりご覧ください。

文京学院大学「まちラボ プロジェクト」スタート。

今年度は 12 名の学生がリーテックと一緒にリサイクルの啓発活動をすることを希望しています。

4月11日より文京学院大学3年生のカリキュラムである「まちラボプロジェクト」がスタートしました。昨年は、8名の学生と一緒に金属リサイクルの啓発に取り組んでくれましたが、今年はそれを上回る12名の学生がリーテックとの活動に興味を持ってくれました。すでに学生からは大学内に常設の回収ボックスを置きたい、携帯電話だけでなく、ゲーム機やそのほかの電子機器の回収の可能性など、チームメンバーと協力しながら企画を検討してくれています。金属のリサイクルについて考えるだけでなく、チームで企画を考えたり、リーダーを中心にプロジェクトを進めていくという組織力についても学んでもらうため、今年度は学生主体で企画を進めていく予定です。また、本社でのプレゼン発表やセンターの見学・体験会の実施も計画しますので、その際は関係部署の皆さま、ご協力のほど宜しくお願いします。

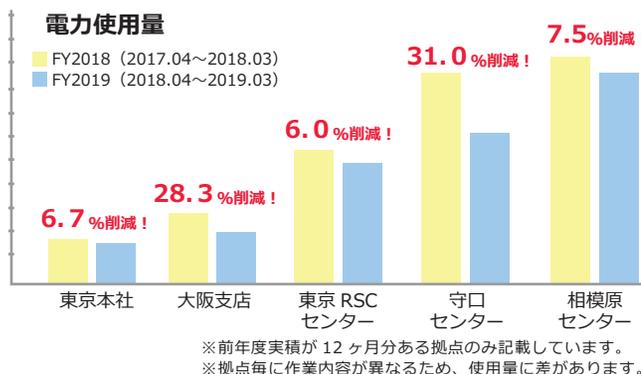


文京学院大学本郷キャンパス内に、まちラボ（まちづくり研究センター）がオープン。ここで授業やイベントを行います。

電力および紙の使用量 前年比5%削減 チャレンジ！

前年度の実績より電力と紙の使用量を5%削減するため、リーテックでは色々な取り組みを行いました。

リーテックはリバースサプライチェーンマネジメントによって、法人様の不要となったIT/モバイル機器を再利用・再資源化することで廃棄量を削減し、製品を生産するために使用される資源の削減に繋がっていますが、事業のみならず、オフィスにおいても省資源・省エネルギーの取り組みを行なっています。リーテックでは前年度の電力および紙の使用量を5%削減するという目標を掲げています。各拠点毎にアイデアを出し合い、自分たちができることから少しずつ改善し、電力量や紙使用量の削減を目指します。

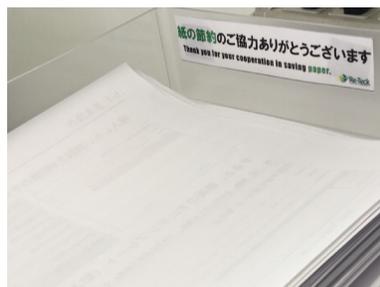


実際に拠点で行なっている電力量・紙使用量削減の取り組みをご紹介します。



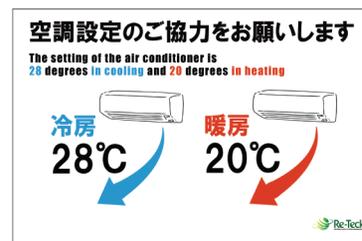
執務スペースでも仕事に支障が出ない位置の蛍光灯を間引き！

目立つところにステッカーを貼って、節約を意識づける！



社内共有用の資料や、印刷確認が必要な内容は裏紙に印刷！

送風、温度管理をしっかり行い、作業効率を下げずに省エネ！



こんな啓発ステッカーを作ってほしい！という希望がありましたら CSR 小野までご連絡ください。

学び塾 第2弾 「行動規範、社内ビジネスマナー（迷惑行為防止）」研修 みんなが気持ちよく働くために、自分の行動を改めて確認しましょう！

第2回目の学び塾は3月20日に東京 RSC センターと4月5日に守口センターにて行いました。受講は全拠点にスカイプをつなぎ、希望者のみの参加としています。今回の講義では、改めてリーテック行動規範を読み返し、同じ職場で働くメンバーがどうしたら気持ちよく働けるかなど、みんなで意見も出し合いました。働きやすい職場の定義は人によって違います。その違いをお互いに理解し、思いやり、コミュニケーションを取ることで職場環境は変わります。学び塾をきっかけに、各拠点で働きやすい職場環境づくりを意識し、改善する良い機会となりました。



講師：松島さん / 人事総務部

編集後記



今回、冒頭に記載しておりますが、NGO ジョイセフ様との電子機器回収の取り組みについて、チラシを作成していただきました。破碎処理協力企業としてリーテックの名前も記載されております。私は大学で途上国支援について主に学んでいましたので、こうして途上国の母子の支援に繋がる取り組みができることがとても嬉しいです。こうした取り組みをこれからも広げていきたいと思っています。 CSR 小野 真菜

リーテックは健康的に働ける環境づくりを推進します！

健康経営とは？ ※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営とは、「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。従業員の健康管理・健康づくりの推進は、単に医療費という経費の節減のみならず、生産性の向上、従業員の創造性の向上、企業イメージの向上等の効果が得られ、かつ、企業におけるリスクマネジメントとしても重要です。従業員の健康管理者は経営者であり、その指導力の下、健康管理を組織戦略に則って展開することがこれからの企業経営にとってますます重要になっていくものと考えられます。

NPO 法人健康経営研究会「<http://kenkokeiei.jp/whats>」より引用

リーテックにおける“健康的に働く”とは？ - 経営者の方針 -

● 心身ともに健康で、元気に働く！

会社にとって社員のコミュニケーションが円滑になることはビジネス成功の鍵ですが、人は他者との繋がりを持つことでより満足度を感じて生きることができます。職場における良い人間関係は個人の人生を豊かにしますので、ぜひ社員間のコミュニケーションを密に取りましょう。

● 就業時間内に集中して生産的に働く！

時間外勤務をしないように優先順位をつけて、効率よく働きましょう。急なトラブルなどで残業が発生した場合はその時間を他の日で振り替え、きちんと体を休めることを心がけてください。

● ON と OFF を切り替えリフレッシュしながら働く！

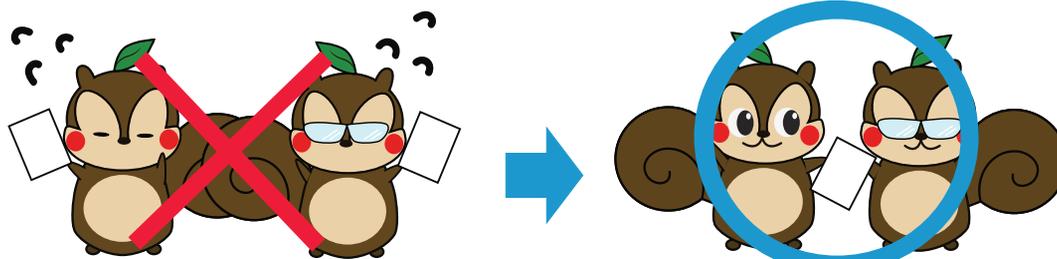
ON（会社で働く時間）とOFF（個人の時間、家族と過ごす時間など）を切り替え、リフレッシュをして次の日に疲れを残さないように働きましょう。有給休暇を使って余暇を持つことで仕事に意欲的に取り組めるようになります。

確実な有給休暇取得への取り組み

2019年4月より「年5日の年次有給休暇の確実な取得」が義務づけられました。

※第196回通常国会において「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立。

業務シェア、情報共有の促進で有給休暇の取りやすい職場環境を目指します！



担当者だけが業務を把握している。

誰でも問い合わせに対応できる。

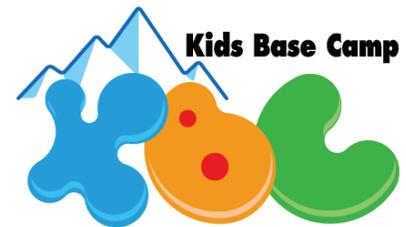
各部署において、社員一人ひとりが責任をもって仕事をすることは重要ですが、担当者だけが業務を把握していると、その社員が休暇などで不在の際に、お客様をお待たせしてしまったり、迷惑をかけてしまうことに繋がります。また、休むと仕事が滞ってしまうために休みづらくなり、なかなかリフレッシュの機会を作ることができず、その結果仕事の効率を下げる可能性もあります。そうならないためにも情報共有をきちんと行い、チームで働く体制を整え、休みやすい環境を社員全員で作らしましょう。

小学生を対象とした出張リサイクル教室の開催決定！

株式会社 東急キッズベースキャンプ様の二子玉川の拠点に通う小学3年生以上の生徒さんを対象とした「出張リサイクル教室」の開催が決定いたしました。生徒さんには実際にノートパソコンの分解を体験していただきます。なかなか見る機会のないパソコンの内部を見ながら、どんな金属が含まれていて、その金属にはどんな価値があって、どうやってリユース・リサイクルされていくのかを学んでもらえる授業を実施する予定です。リーテックでは将来世代へ向けたリサイクルの啓発活動の一環として、昨年より小学生を対象とした「リサイクル体験会」を実施しています。第1弾の体験会では、大学生を東京RSCセンターへ招き、携帯電話の分解体験や3Rや循環型社会について知ってもらうための授業を実施しました。今年度は、様々な世代に向けてリサイクルについて興味を持ってもらいたいという思いから、小学生を対象とした「出張リサイクル教室」の実施を企画し、準備を行なっています。実施についての詳細はまた改めて配信いたします。

株式会社 東急キッズベースキャンプ様について

「放課後の時間を“消費”から“投資”へ」をテーマに、小学生の子どもたちに安全な放課後を提供し、遊びや学びの体験の中から“社会に繋がる人間力”を育む場となることを目指して2006年に設立された民間学童保育です。22時までの延長、食事の提供、セキュリティや付き添い診療、習い事の送迎など、児童福祉の世界に民間企業の知恵やサービスマインドを導入し、人材の育成やプログラムの強化に取り組んできました。現在は、民間学童保育での経験を生かし、公設の児童館や放課後児童クラブの受託運営もしています。東急線沿線を中心に、東京都内・神奈川県内に23店舗を運営するほか、放課後学童クラブ、児童館など23施設を自治体から受託しています。

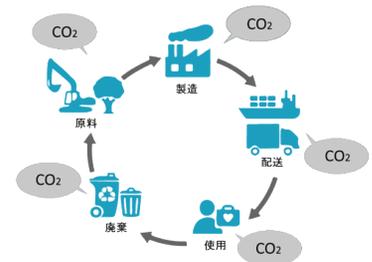


FY2020 ISO 年間活動計画が策定されました。

6月のテーマは「環境負荷の低減」、社員一人ひとりが意識し、取り組みましょう！

環境負荷低減のためのチェックリスト

- 燃えるゴミとリサイクル紙は分けて廃棄していますか？
きちんと分別をし、少しでも資源を有効活用しましょう。
- マイカップ、マイボトルを積極的に使用していますか？
使い捨てカップを抑制し、ゴミの削減を心がけましょう。
- 印刷した用紙を放置していませんか？
不要な印刷を避け、ミスプリントは裏紙ボックスに入れましょう。
- 会議などではデータ共有をし、資料の印刷を削減していますか？
印刷を減らすだけで、紙の使用量と電気エネルギーを削減することが可能です。
- 使用後の会議室の電気やエアコンをつけたままにしていませんか？
最後に退出する人は必ず電気を消し、エアコンを確認しましょう。



製造・配送・廃棄など、各過程においてCO₂が排出されます。省エネだけでなく、ゴミを減らすことはCO₂削減に貢献できます。

編集後記



東急キッズベースキャンプ様との「出張リサイクル教室」の実施が決まりました！内容については関係部署の皆さまと相談をさせて頂きながら考えていきたいと思っております。小学校の夏休み期間中の実施となりますので、絵日記映えするような楽しい企画にしたいと考えています。詳細についてはまた改めて配信させて頂きますが、皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。 CSR 小野 真菜